

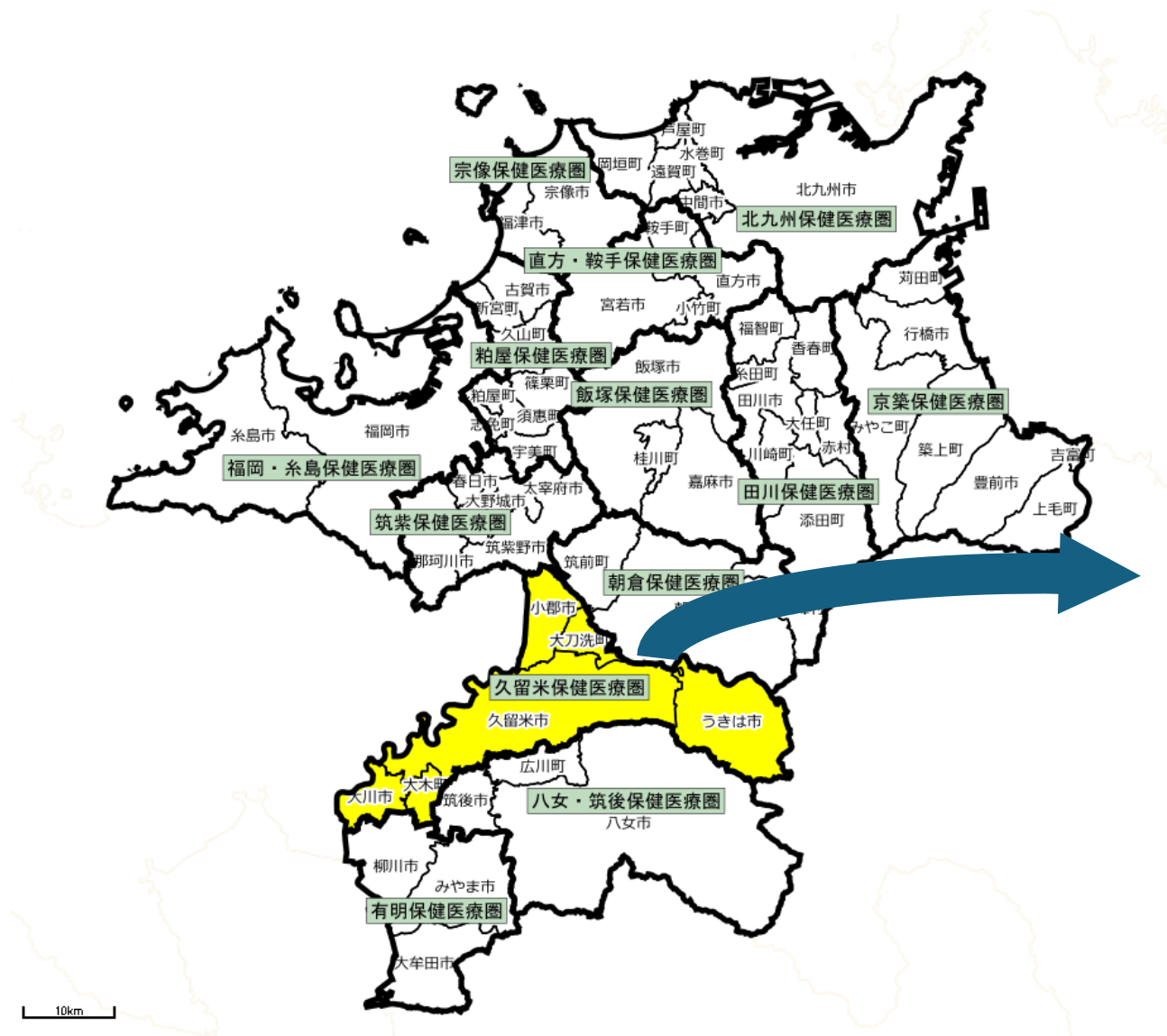
# 地区診断

—久留米区域—

# 目次

1	概要	3
2	人口の状況	4
3	出生率の状況	9
4	死亡率の状況	10
5	将来推計人口の推移	11
6	市町別将来推計人口の推移	15
7	SCRの状況	17
8	患者推計	22
9	医療従事者数〔医師〕	24
10	医療従事者数〔医師・診療科〕	26
11	医療従事者数〔常勤医師〕	28
12	医療介護資源の状況	29
13	医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	31
14	在宅医療の状況	36
15	看護職員の状況	41
16	二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	43
17	二次救急及び急患センターの位置（隣接区域含む）	44
18	人口メッシュ（500m）	45
19	救急搬送の状況	46
20	救急医療電話相談利用件数	51
21	MDC別割合	52

# 1. 概要



構成市町村:4市2町

(久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町)

面積:467.83km<sup>2</sup>

人口:452,986人(令和2年国勢調査)

[うち年少人口(0~14):57,256人(12.6%)]

[うち生産年齢人口(15~64):242,774人(53.6%)]

[うち老年人口(65~):126,939人(28%)]

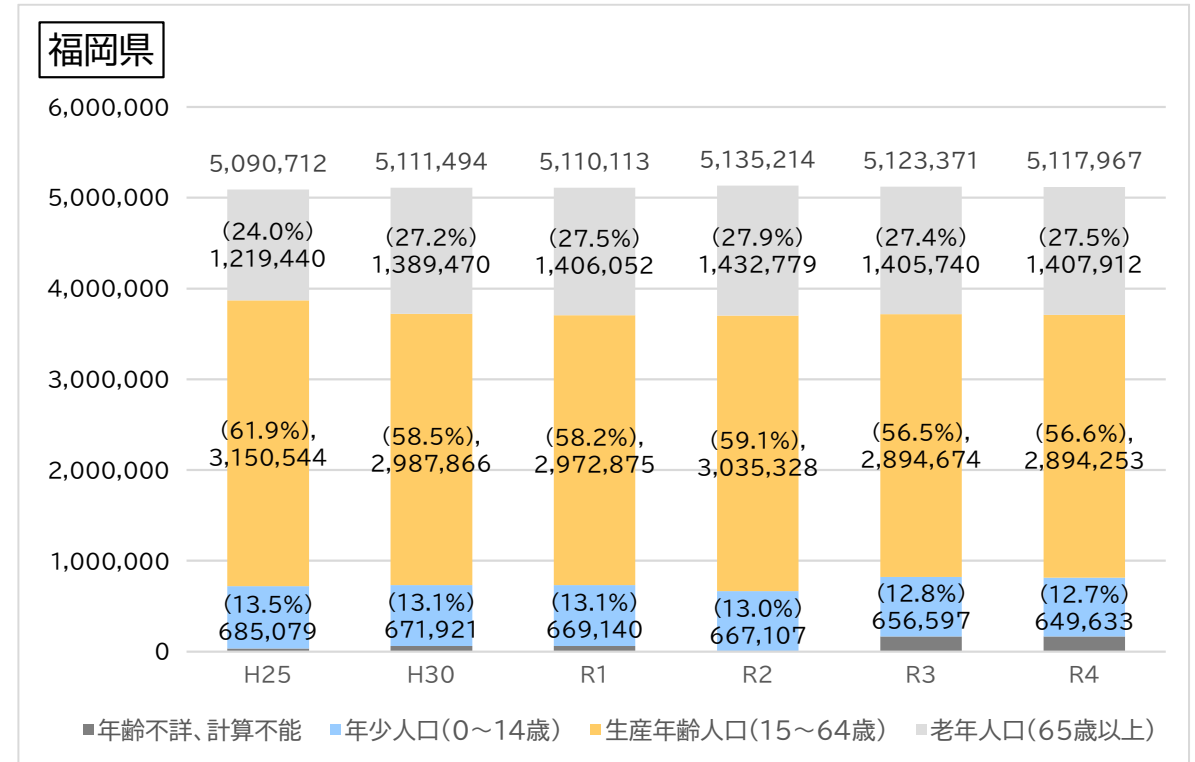
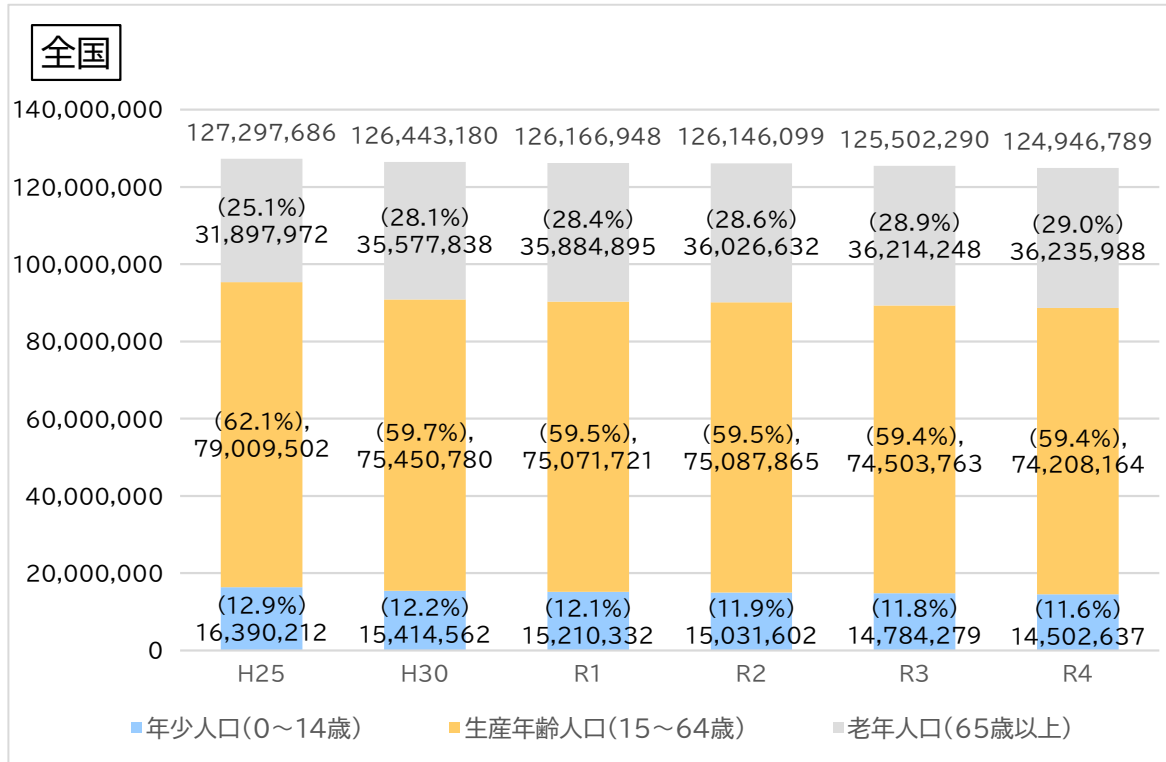
出生数:3,248人(令和4年福岡県保健統計年報)

(人口千対:7.3)※ 県平均7.1

死亡数:5,777人(令和4年福岡県保健統計年報)

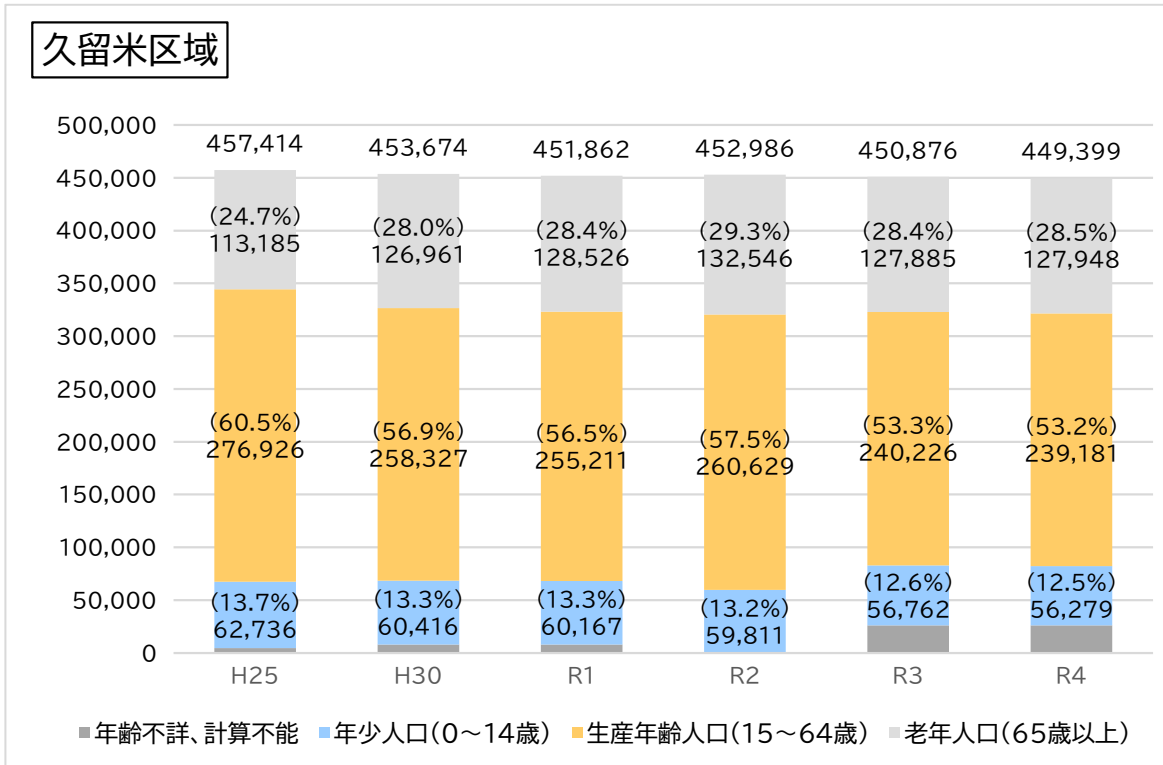
(人口千対:13.0)※ 県平均12.2

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年からR4年までで、全国で3.9ポイント増加し、福岡県では、3.5ポイント増加している

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



・総人口については、減少傾向

・年齢3区分別人口の推移を見ると、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている

・老年人口の割合は、29%前後で推移しており、H25年度からR4年度までで、3.8ポイント増加している

・令和4年度の各市町の状況を見ると(スライド6参照)、老年人口の割合が30%を超えている市町、20%台の市町などがあり、各市町で状況は様々となっている

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)

### ●久留米区域の各市町の状況

	H25				H30				R1				R2				R3				R4			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数
久留米市	41,476 (13.7%)	184,997 (61.2%)	71,450 (23.6%)	302,461	40,739 (13.4%)	174,500 (57.4%)	81,131 (26.7%)	304,125	40,699 (13.4%)	172,609 (56.9%)	82,188 (27.1%)	303,246	40,309 (13.3%)	177,664 (58.6%)	85,343 (28.1%)	303,316	37,628 (12.5%)	159,201 (52.7%)	80,679 (26.7%)	302,095	37,350 (12.4%)	158,405 (52.6%)	80,809 (26.8%)	301,150
大川市	4,032 (11.2%)	20,891 (57.9%)	11,132 (30.9%)	36,066	3,518 (10.5%)	18,041 (53.8%)	11,845 (35.3%)	33,521	3,467 (10.5%)	17,629 (53.3%)	11,861 (35.9%)	33,072	3,456 (10.5%)	17,700 (53.7%)	11,832 (35.9%)	32,988	3,340 (10.3%)	17,169 (52.9%)	11,735 (36.2%)	32,443	3,263 (10.2%)	16,880 (52.8%)	11,616 (36.4%)	31,954
小郡市	8,628 (14.7%)	35,562 (60.6%)	14,438 (24.6%)	58,636	8,095 (13.9%)	34,059 (58.3%)	16,160 (27.7%)	58,427	8,085 (13.8%)	33,854 (57.9%)	16,466 (28.1%)	58,517	8,131 (13.7%)	34,316 (57.8%)	16,913 (28.5%)	59,360	8,108 (13.6%)	33,759 (56.8%)	17,111 (28.8%)	59,422	8,037 (13.5%)	34,015 (57.0%)	17,169 (28.8%)	59,663
うきは市	4,103 (13.3%)	17,514 (56.8%)	9,185 (29.8%)	30,811	3,601 (12.7%)	15,057 (53.2%)	9,689 (34.2%)	28,328	3,506 (12.6%)	14,592 (52.4%)	9,745 (35.0%)	27,821	3,475 (12.4%)	14,435 (51.6%)	10,071 (36.0%)	27,981	3,307 (12.0%)	13,683 (49.6%)	9,862 (35.8%)	27,576	3,255 (11.9%)	13,488 (49.5%)	9,812 (36.0%)	27,276
大刀洗町	2,203 (14.6%)	9,334 (61.7%)	3,580 (23.7%)	15,121	2,274 (14.9%)	8,772 (57.4%)	4,219 (27.6%)	15,271	2,259 (14.8%)	8,717 (57.1%)	4,293 (28.1%)	15,274	2,339 (15.1%)	8,831 (56.9%)	4,351 (28.0%)	15,521	2,342 (15.0%)	8,837 (56.6%)	4,416 (28.3%)	15,626	2,382 (15.2%)	8,854 (56.3%)	4,450 (28.3%)	15,717
大木町	2,294 (16.0%)	8,628 (60.3%)	3,400 (23.7%)	14,319	2,189 (15.6%)	7,898 (56.4%)	3,917 (28.0%)	14,002	2,151 (15.4%)	7,810 (56.1%)	3,973 (28.5%)	13,932	2,101 (15.2%)	7,683 (55.6%)	4,036 (29.2%)	13,820	2,037 (14.9%)	7,577 (55.3%)	4,082 (29.8%)	13,714	1,992 (14.6%)	7,539 (55.3%)	4,092 (30.0%)	13,639

※総数には年齢不詳、計算不能を含む

## 2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

### ●昼夜間人口

表1) 昼間人口・夜間人口

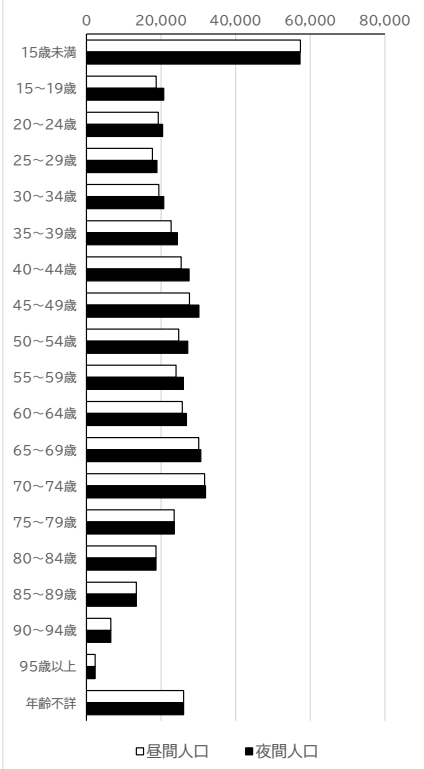


表2) 昼夜間人口比率

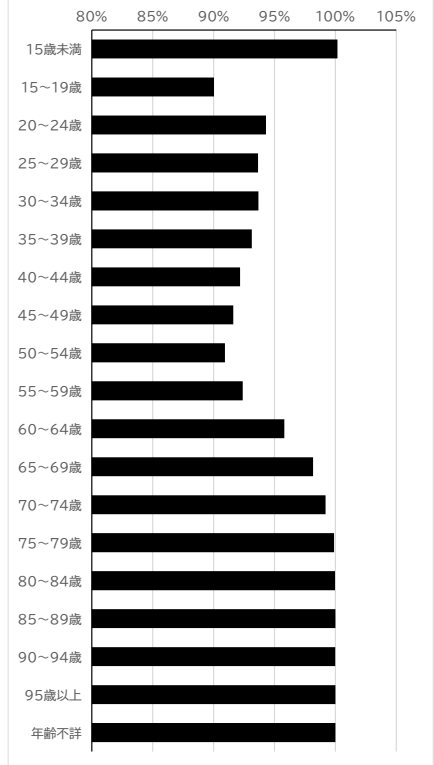


表3) 年齢別昼夜間人口

年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	434,597	452,986	214,902	238,084	-11,498	-6,891	94.6%	97.1%
15歳未満	57,355	57,256	29,226	28,030	69	30	100.2%	100.1%
15~19歳	18,668	20,734	10,507	10,227	-752	-1,314	92.8%	87.2%
20~24歳	19,251	20,412	10,190	10,222	-503	-658	95.1%	93.6%
25~29歳	17,694	18,893	9,140	9,753	-816	-383	91.1%	96.1%
30~34歳	19,387	20,693	10,136	10,557	-896	-410	91.2%	96.1%
35~39歳	22,709	24,380	11,948	12,432	-1,112	-559	90.7%	95.5%
40~44歳	25,379	27,533	13,517	14,016	-1,430	-724	89.4%	94.8%
45~49歳	27,625	30,151	14,708	15,443	-1,665	-861	88.7%	94.4%
50~54歳	24,707	27,168	12,989	14,179	-1,608	-853	87.6%	94.0%
55~59歳	24,018	25,993	12,260	13,733	-1,379	-596	88.8%	95.7%
60~64歳	25,692	26,817	12,737	14,080	-795	-330	93.8%	97.7%
65~69歳	30,090	30,648	14,699	15,949	-426	-132	97.1%	99.2%
70~74歳	31,649	31,904	14,711	17,193	-171	-84	98.8%	99.5%
75~79歳	23,521	23,547	10,122	13,425	-12	-14	99.9%	99.9%
80~84歳	18,648	18,652	7,343	11,309	-3	-1	100.0%	100.0%
85~89歳	13,389	13,389	4,470	8,919	0	0	100.0%	100.0%
90~94歳	6,506	6,507	1,675	4,832	1	-2	100.1%	100.0%
95歳以上	2,292	2,292	355	1,937	0	0	100.0%	100.0%
年齢不詳	26,017	26,017	14,169	11,848	0	0	100.0%	100.0%

- ・昼夜間人口の差が最も大きい年代は「45-49歳」、「50-54歳」で、通勤によって域外に流出しているものと思料
- ・昼夜間人口比率を就業の年代(25-64)で見ると、男性の昼夜間人口比率は90%前後で、女性よりも男性で域外への流出傾向が強いものと思料

## 2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

表4) 昼夜間人口比率

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域内で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	91,788	93,590	69,651	72,551	22,137	21,039	0	0
	従業も通学もしていない	55,104	92,957					55,104	92,957
	不詳	27,037	23,517	3,379	2,657	1,468	1,364	22,190	19,496
	計	173,929	210,064	73,030	75,208	23,605	22,403	77,294	112,453
流出	他地域に従業・通学	40,973	28,020	37,048	23,866	3,925	4,154	0	0
流入	他地域から従業・通学	29,475	21,129	26,152	18,331	3,323	2,798	0	0

### 主な流出先

#### 【就業】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 佐賀県 鳥栖市	8,667	14.23%	1 福岡県 福岡市博多区	708	8.76%
2 福岡県 朝倉市	6,288	10.32%	2 福岡県 柳川市	658	8.14%
3 福岡県 福岡市博多区	5,565	9.14%	3 福岡県 福岡市中央区	637	7.88%
4 福岡県 福岡市中央区	4,496	7.38%	4 福岡県 八女市	620	7.67%
5 福岡県 筑後市	4,045	6.64%	5 福岡県 福岡市城南区	590	7.30%

#### 【通学】

### 主な流入元

#### 【就業】

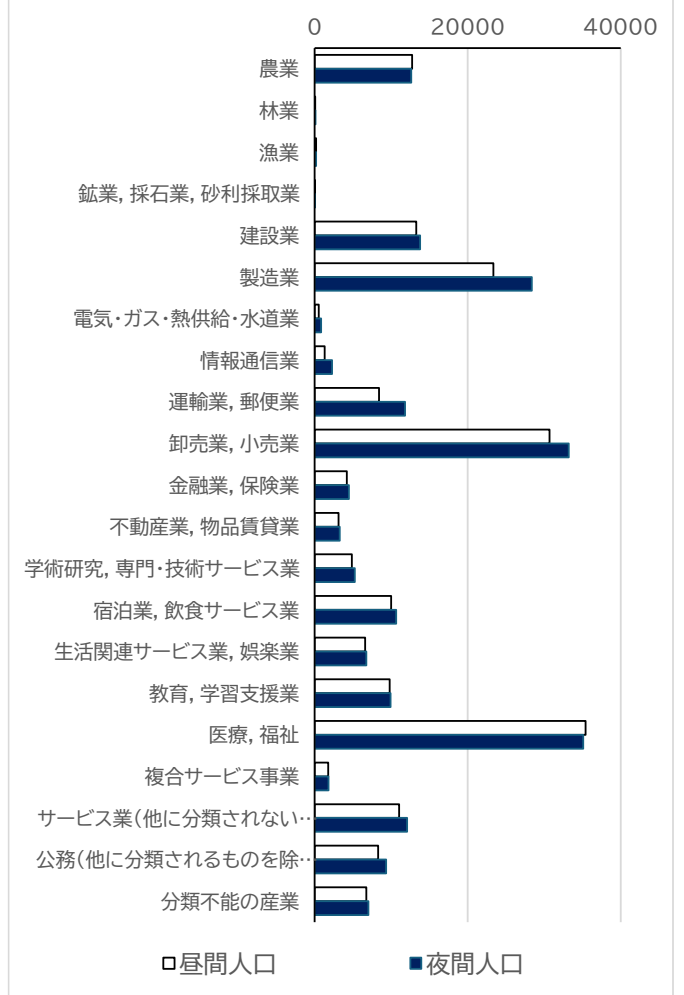
市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 福岡県 柳川市	4,343	9.76%	1 福岡県 朝倉市	404	6.60%
2 福岡県 筑後市	4,229	9.51%	2 福岡県 筑後市	373	6.09%
3 佐賀県 鳥栖市	3,978	8.94%	3 福岡県 八女市	364	5.95%
4 福岡県 朝倉市	3,588	8.07%	4 福岡県 柳川市	362	5.91%
5 福岡県 筑紫野市	2,889	6.49%	5 佐賀県 鳥栖市	313	5.11%

#### 【通学】

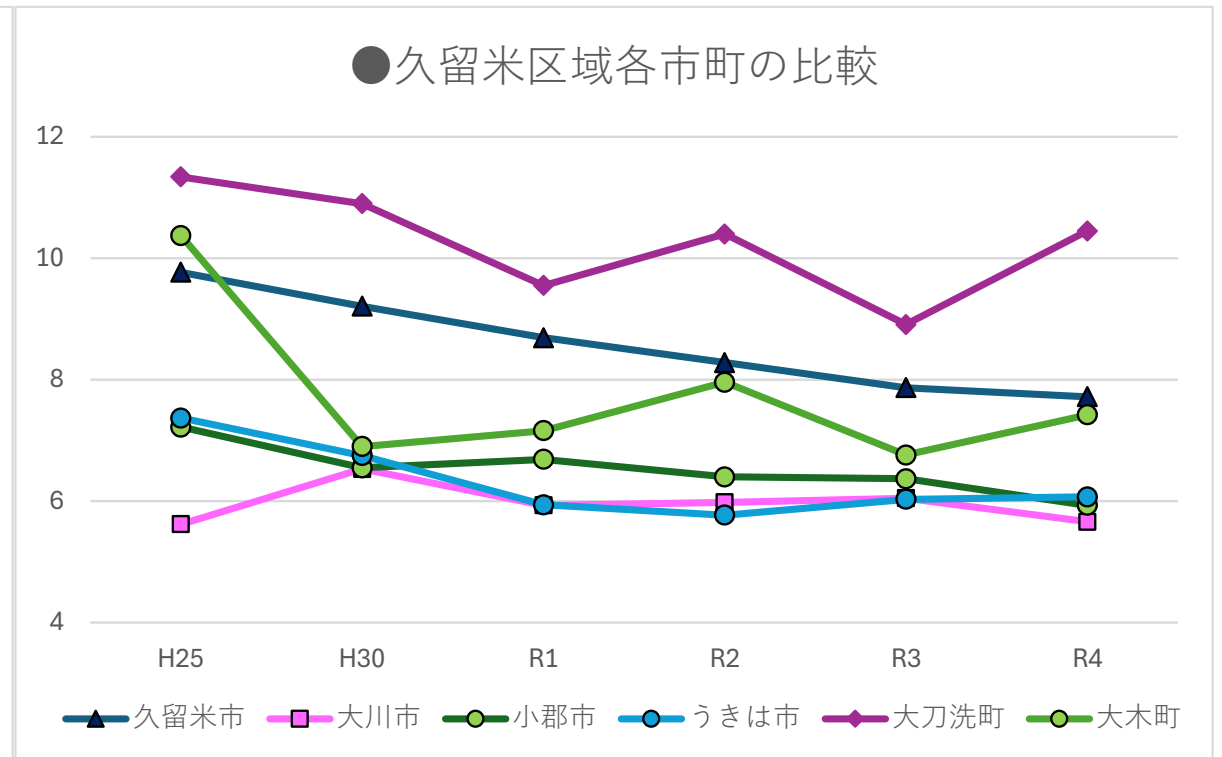
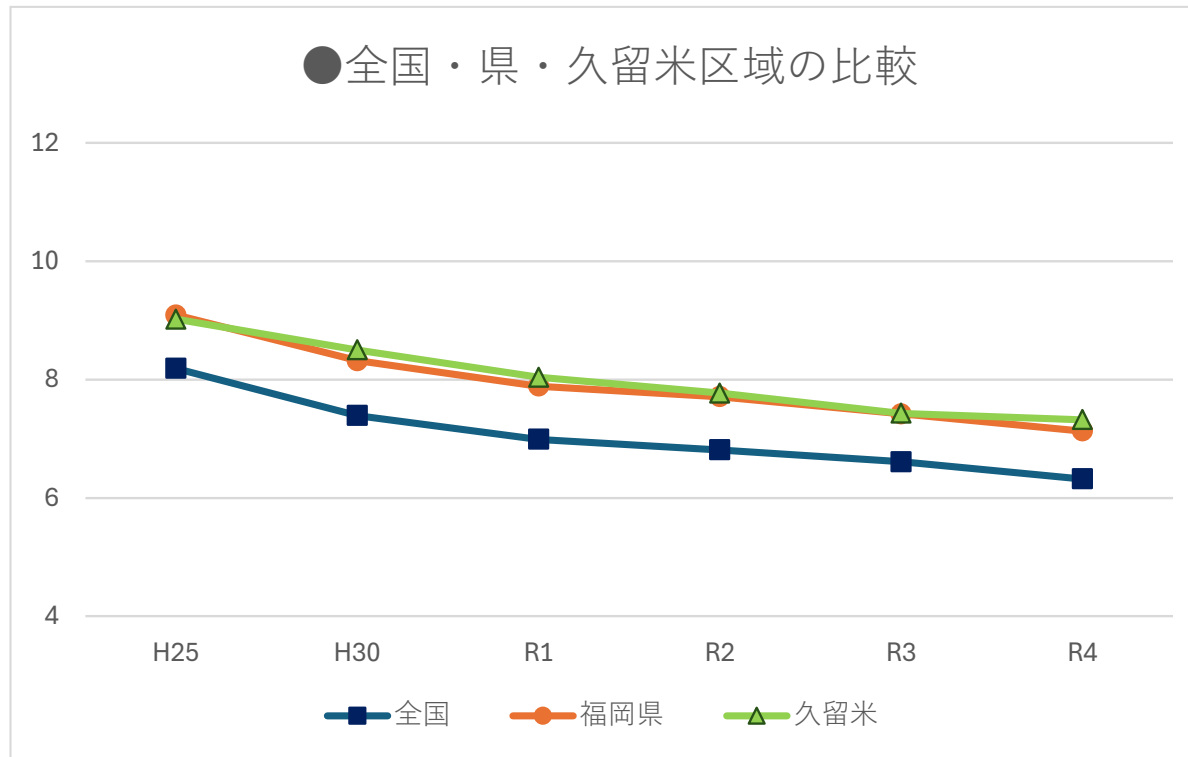
- ・ 就業者は、男女とも流出が多い
- ・ 通学者は、男女ともに流出が多い

産業別に昼間人口を見ると、医療・福祉が最も多く、次いで卸売業・小売業、製造業となっている。医療・福祉は昼間人口が若干多いものの、夜間人口と昼間人口は概ね同程度である。

表5) 昼間人口・夜間人口

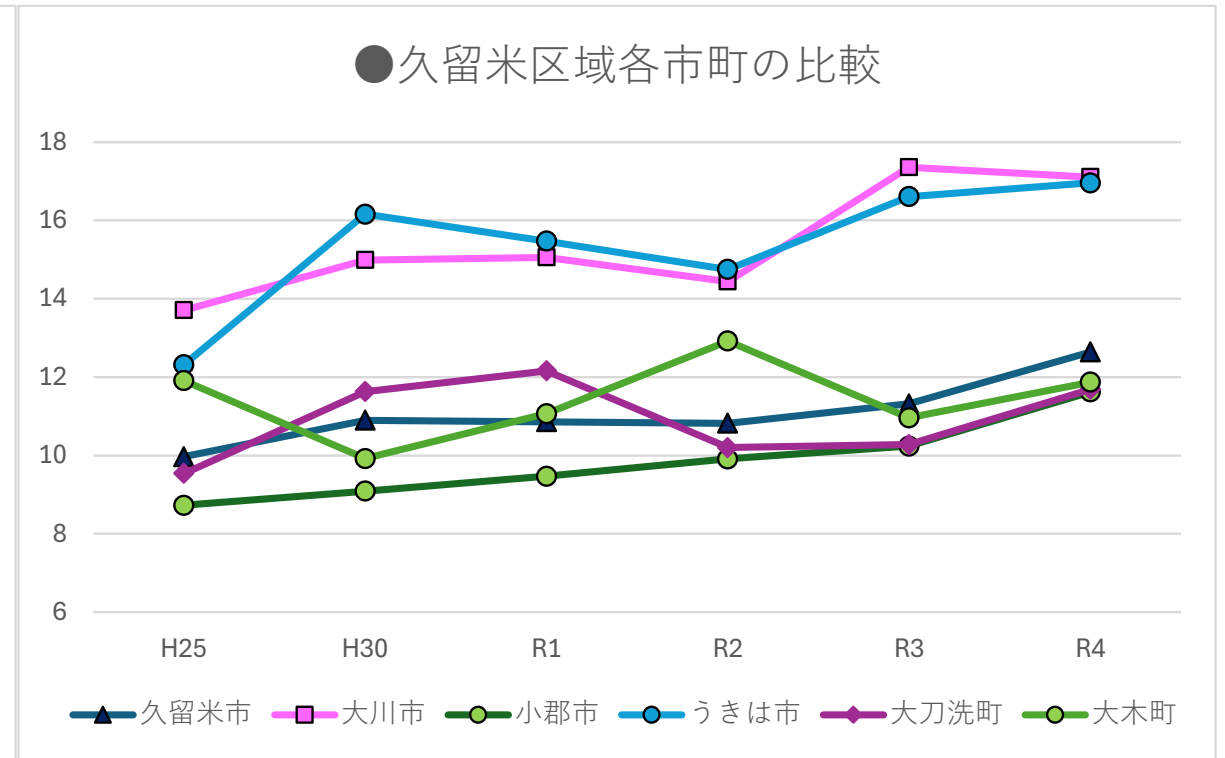
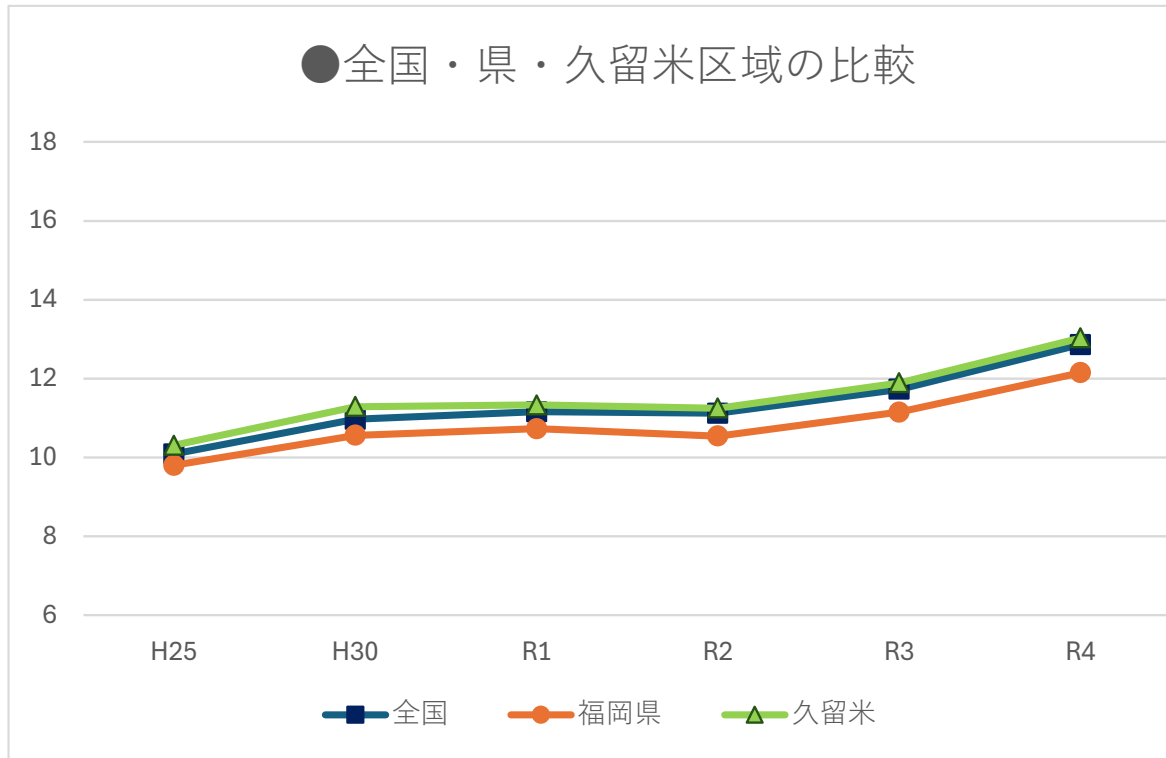


### 3. 出生率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



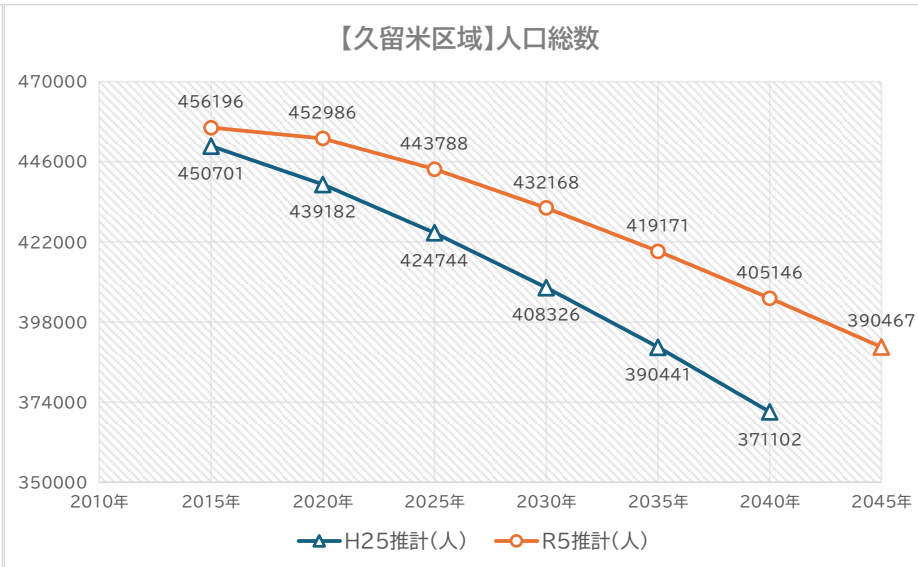
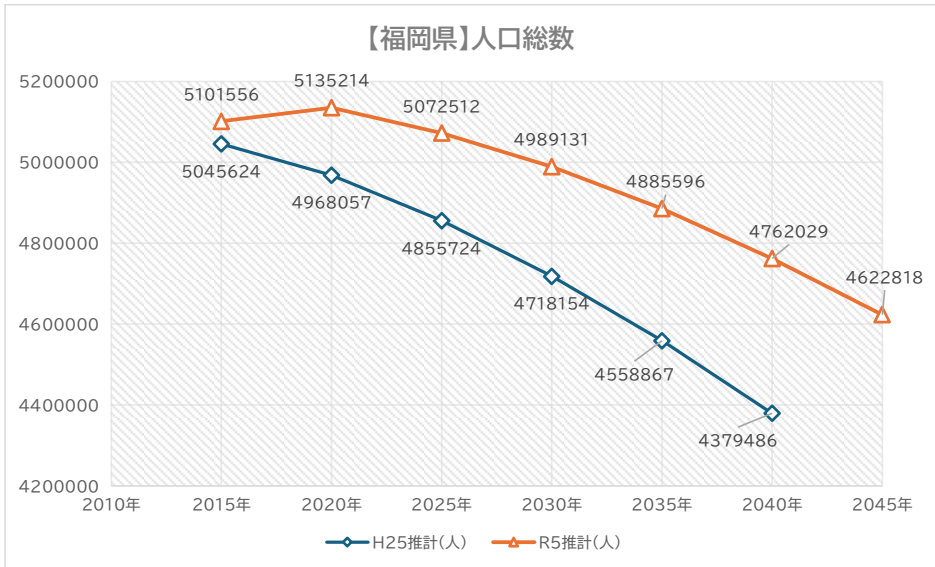
- ・出生率(人口千対)は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、久留米区域ともに低下傾向となっている
- ・市町別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね低下傾向となっている
- ・R4年で出生率が県平均(7.1%)よりも高い市町は大刀洗町、久留米市、大木町、県平均より低い市町は大川市、小郡市、うきは市である

## 4. 死亡率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



- ・死亡率(人口千対)は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、久留米区域ともに上昇傾向となっており、久留米区域は、全国、福岡県と概ね同様の傾向で推移している
- ・市町別に見ると、各市町で異なった動きをしているが、概ね、上昇傾向にあるものと思料
- ・R4年の死亡率が県平均(12.2%)よりも高いのは大川市、うきは市、久留米市、低いのは小郡市、大刀洗町、大木町である 10

# 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



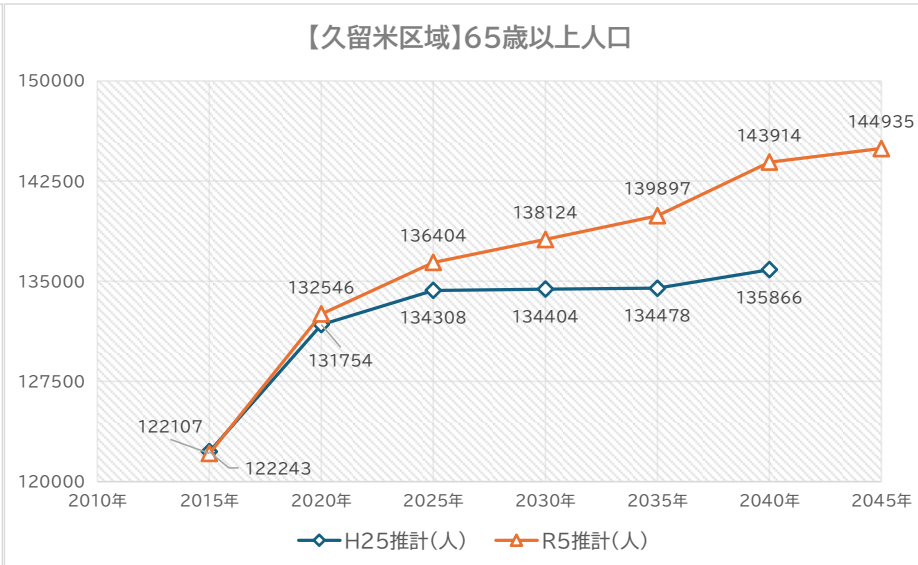
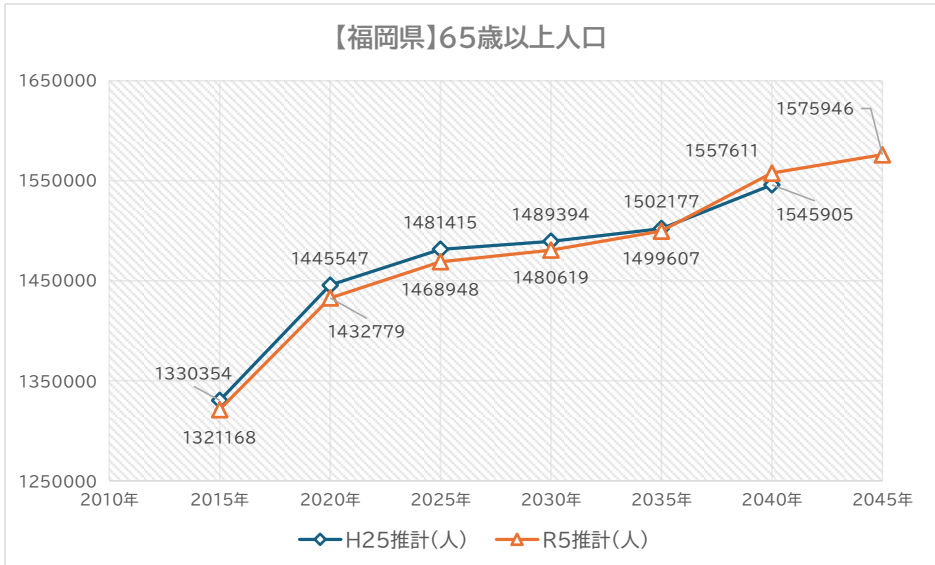
人口総数については、地域医療構想策定当時の推計(H25)と最新の推計(R5)を比べると、以下の状況が読み取れる

#### 【福岡県全体】

当初の推計では、2015年以降減少する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

#### 【久留米区域】

当初推計と同様の傾向であるが、当初推計よりも若干緩やかに推移する見込み



65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

#### 【福岡県全体】

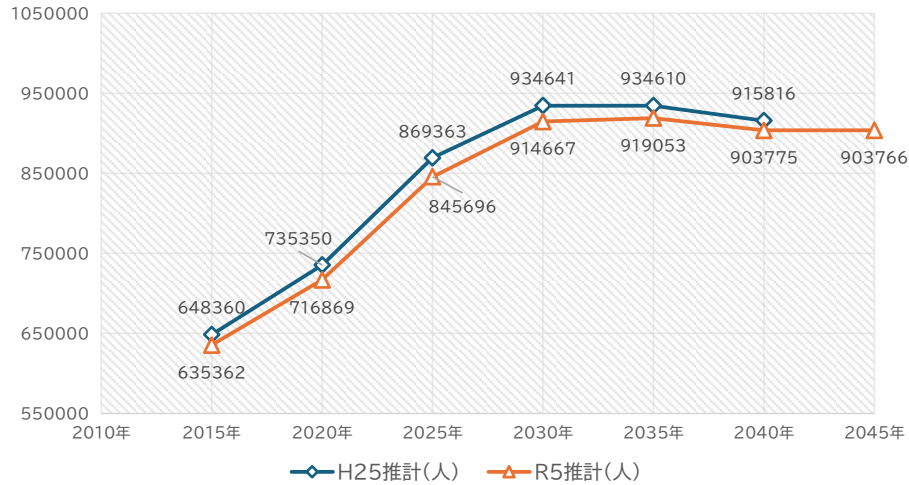
当初の推計と同様の傾向で推移する

#### 【久留米区域】

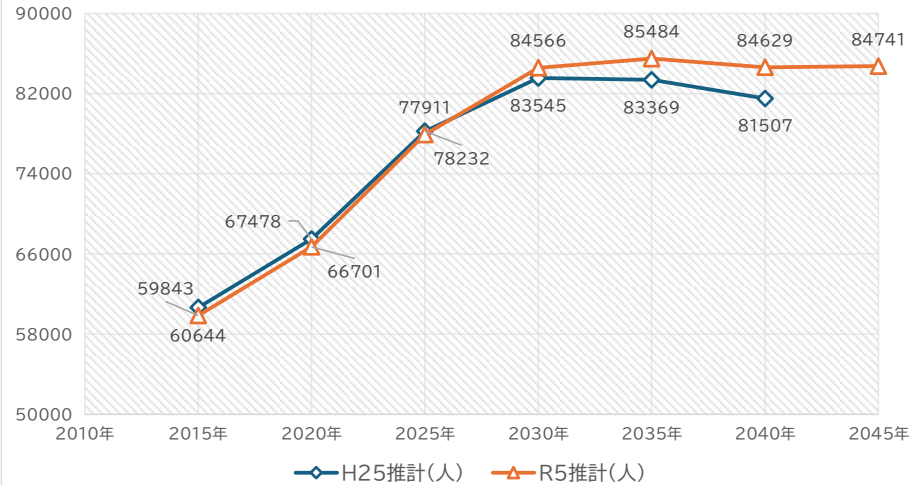
当初推計では2025年以降、概ね横ばいで推移しているが、R5推計では、2030年以降増加する見込み

# 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【福岡県】75歳以上人口



【久留米区域】75歳以上人口



75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

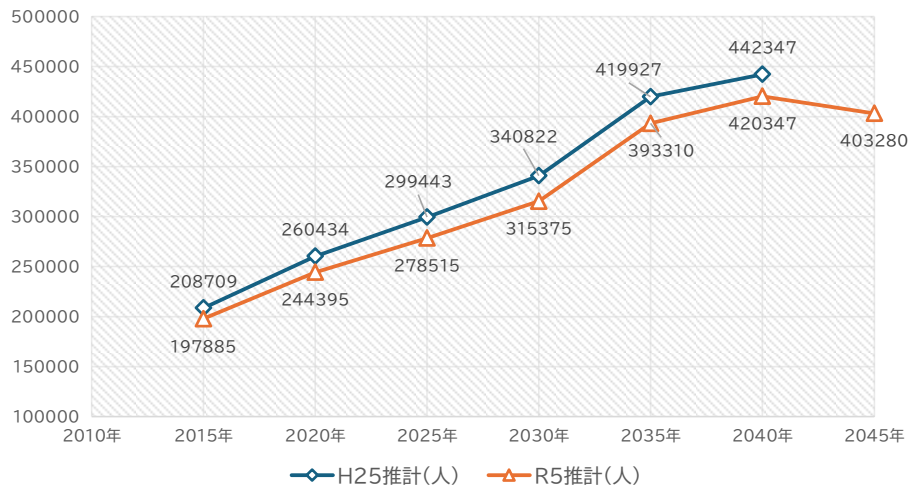
**【福岡県全体】**

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

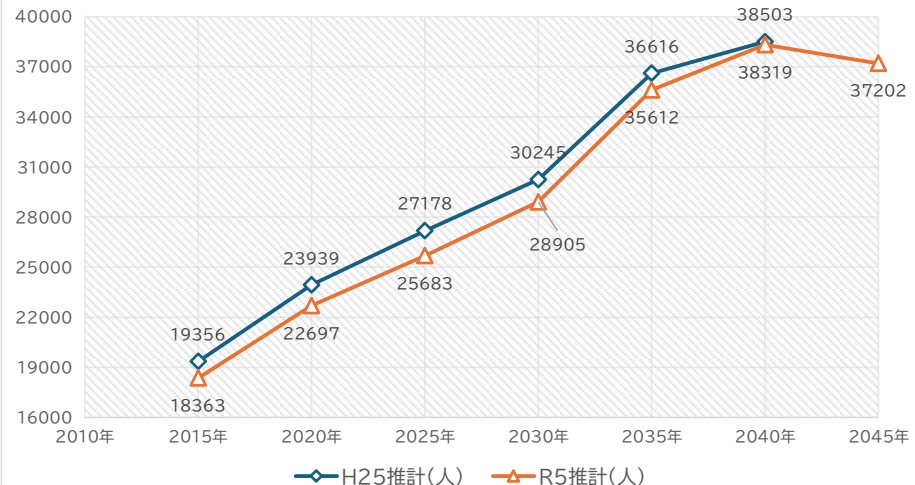
**【久留米区域】**

当初推計と概ね同様の傾向で推移する見込み

【福岡県】85歳以上人口



【久留米区域】85歳以上人口



85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

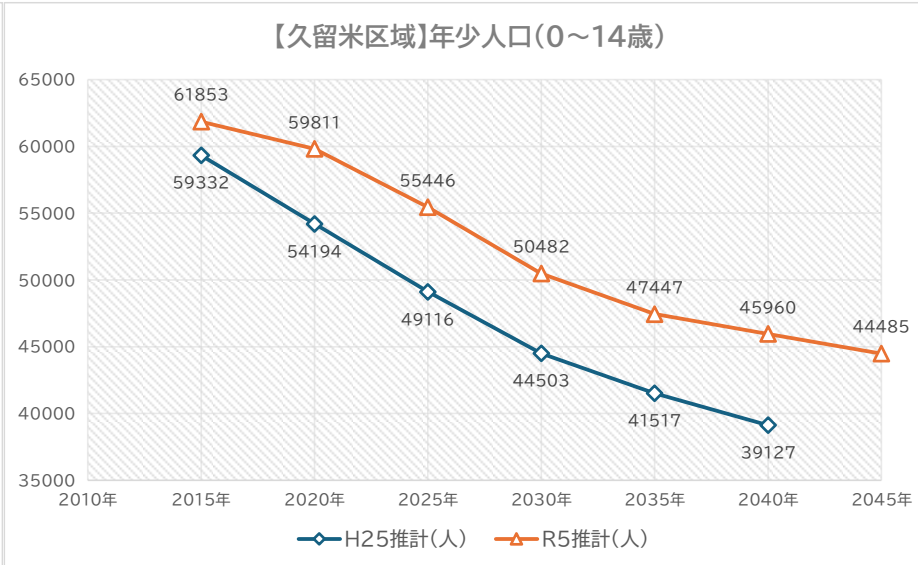
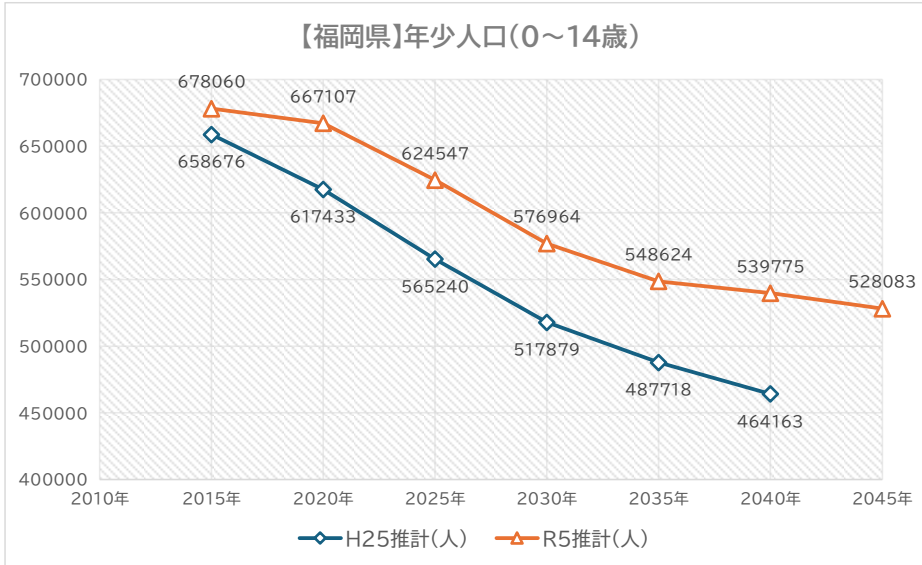
**【福岡県全体】**

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

**【久留米区域】**

当初推計と概ね同様の傾向で推移する見込み

## 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



年少人口については、以下の状況が読み取れる

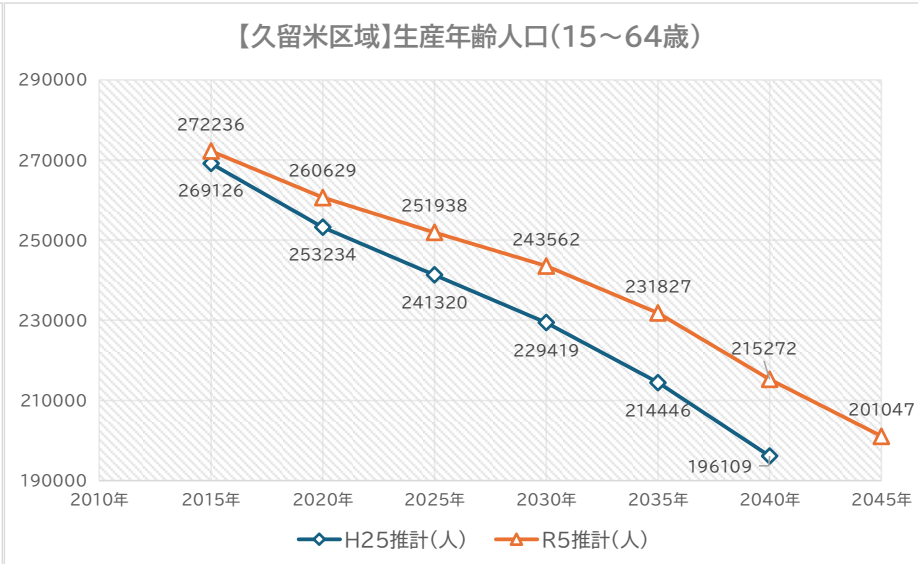
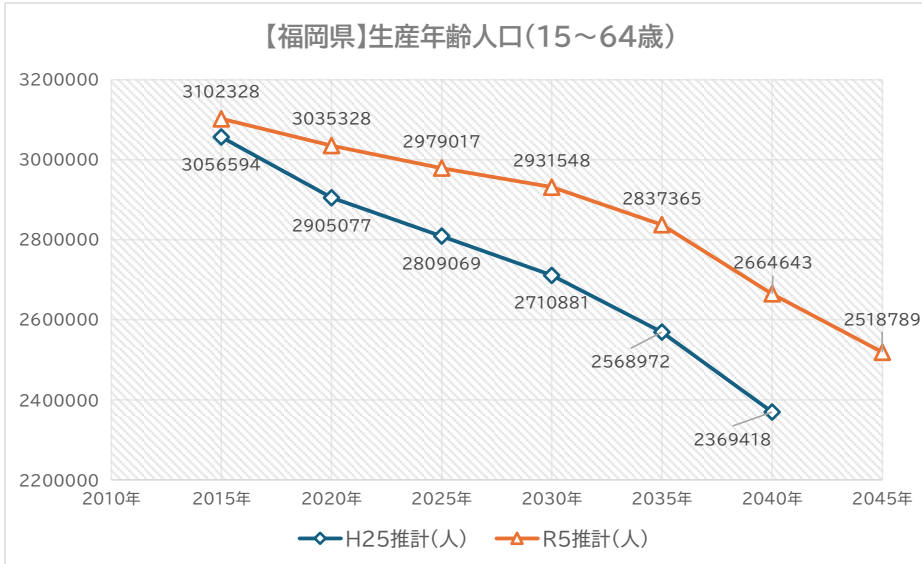
### 【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

### 【久留米区域】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み



生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

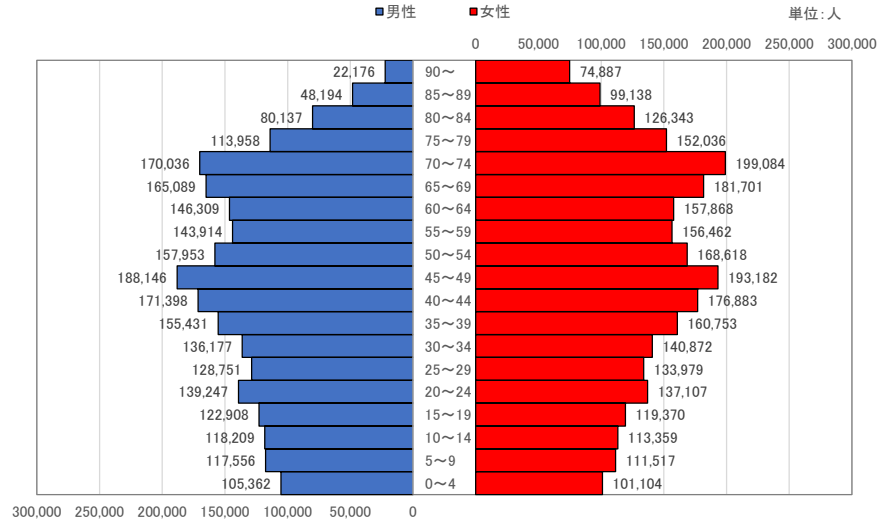
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

### 【久留米区域】

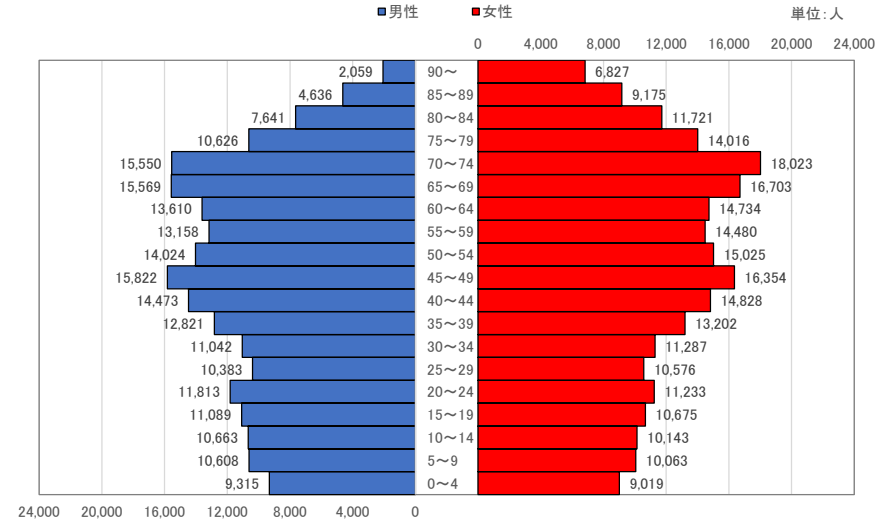
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

# 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2020年】



【人口ピラミッドグラフ(久留米)2020年】



2020(令和2)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

**【福岡県全体】**  
第1次ベビーブーム期にあたる71~74歳、第二次ベビーブーム期にあたる45~49歳で2つの人口の山があり、年齢が下がるにつれて人口が少なくなるつぼ型となっている

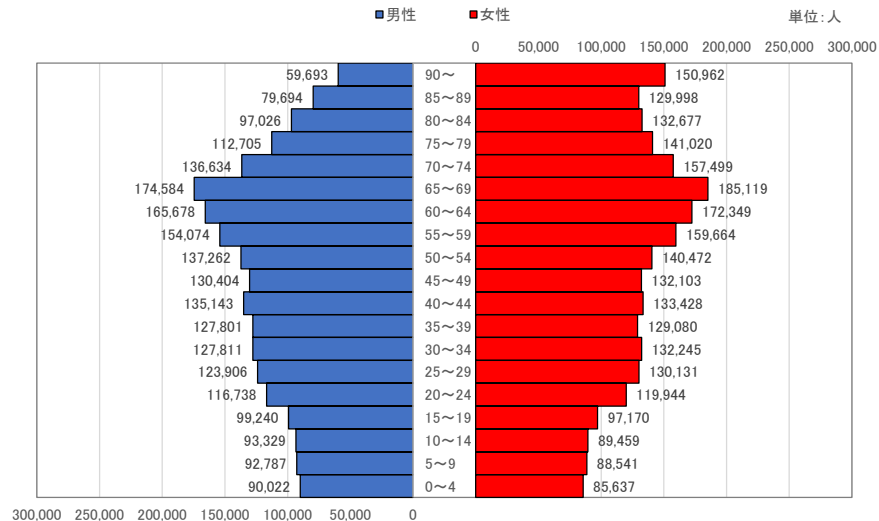
**【久留米区域】**  
福岡県全体と比較して65歳以上の老年人口のボリュームが大きく、一定の規模を維持している

2040(令和22年)の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

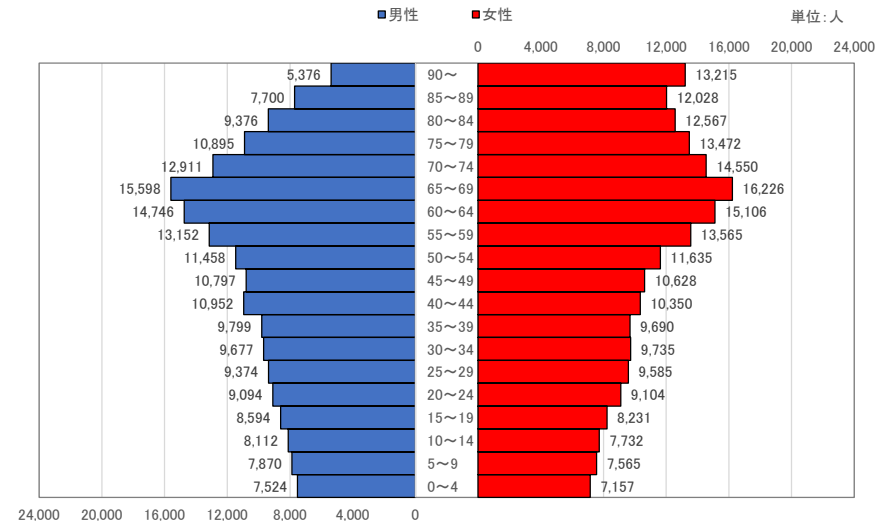
**【福岡県全体】**  
ベビーブーム世代は90歳以上、65~69歳となり、この年代の人口ボリュームを一定程度維持しつつ推移するが、少子化が進むことによって、2020年に比べて年少人口が大きく減少し、より底が狭まったつぼ型となっている

**【久留米区域】**  
65歳以上の老年人口が一定の規模を維持しつつ推移しているため、2020年時点に比べて少子高齢化がさらに進み、より底が狭まったつぼ型に変化している

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2040年】



【人口ピラミッドグラフ(久留米)2040年】



## 6. 市町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

将来の男女5歳階級別推計人口(2020年は国勢調査による実績値)

総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
久留米市	303,316	299,292	293,384	286,393	278,386	269,738	260,912	14.0%
大川市	32,988	30,660	28,559	26,461	24,480	22,609	20,830	36.9%
小郡市	59,360	58,798	57,867	56,781	55,570	54,174	52,689	11.2%
うきは市	27,981	26,210	24,376	22,530	20,715	18,938	17,235	38.4%
大刀洗町	15,521	15,738	15,429	15,050	14,634	14,209	13,781	11.2%
大木町	13,820	13,090	12,553	11,956	11,361	10,799	10,259	25.8%
久留米計	452,986	443,788	432,168	419,171	405,146	390,467	375,706	17.1%

・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、圏域全体の人口総数で17.1%

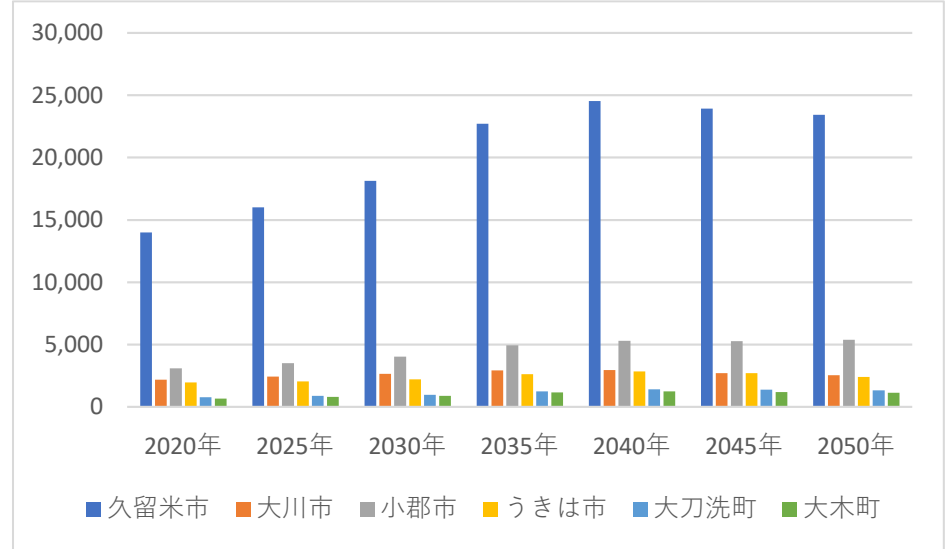
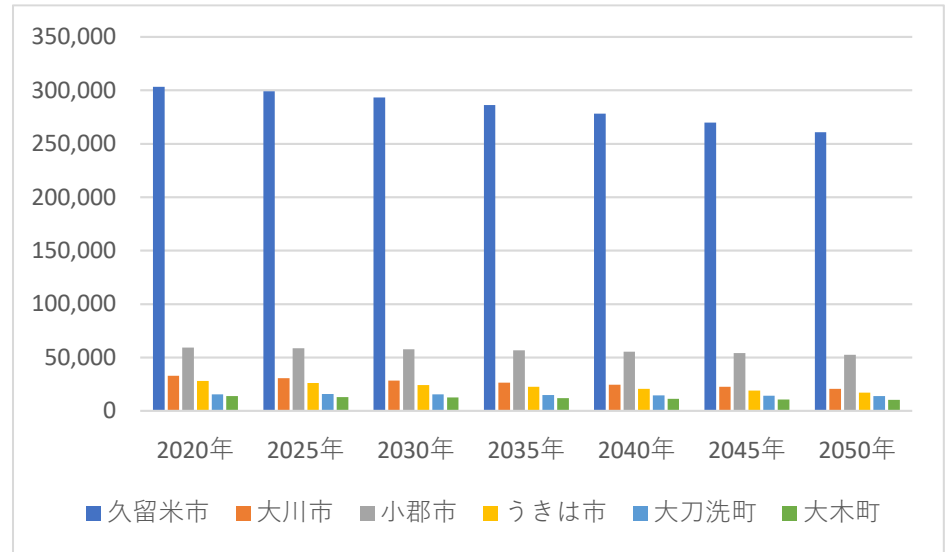
・減少率を市町別で見ると、小郡市、大刀洗町は11.2%で最も低く、うきは市は38.4%で最も高い

85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
久留米市	13,998	16,017	18,128	22,709	24,546	23,917	23,427	75.4%
大川市	2,181	2,446	2,659	2,925	2,966	2,722	2,550	36.0%
小郡市	3,105	3,504	4,038	4,955	5,307	5,276	5,380	70.9%
うきは市	1,965	2,048	2,206	2,637	2,854	2,701	2,410	45.2%
大刀洗町	774	874	973	1,234	1,401	1,386	1,323	81.0%
大木町	674	794	901	1,152	1,245	1,200	1,148	84.7%
久留米計	22,697	25,683	28,905	35,612	38,319	37,202	36,238	68.8%

・多くの市町が2040年にピークを迎え、その後減少していく

・小郡市は2050年にピークを迎える

・増加率(2020→2040)を市町別で見ると、大木町、大刀洗町で久留米区域全体の増加率(68.8%)を大きく上回っており、増加率が80%を超えている。最も増加率が低いのは大川市で30%台となっている



## 6. 市町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

生産年齢人口 (15～64歳)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
久留米市	177,664	173,304	168,965	161,672	150,765	141,406	134,203	24.5%
大川市	17,700	16,090	14,625	13,122	11,783	10,736	9,819	44.5%
小郡市	34,316	33,409	32,314	31,011	29,174	27,621	26,534	22.7%
うきは市	14,435	13,208	12,232	11,148	9,744	8,500	7,405	48.7%
大刀洗町	8,831	8,772	8,519	8,359	7,928	7,501	7,091	19.7%
大木町	7,683	7,155	6,907	6,515	5,878	5,283	4,846	36.9%
久留米計	260,629	251,938	243,562	231,827	215,272	201,047	189,898	27.1%

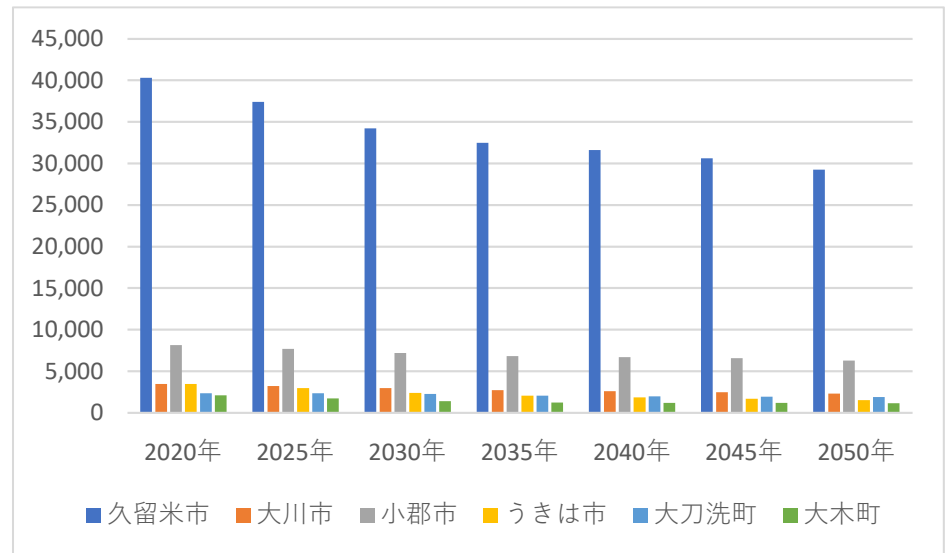
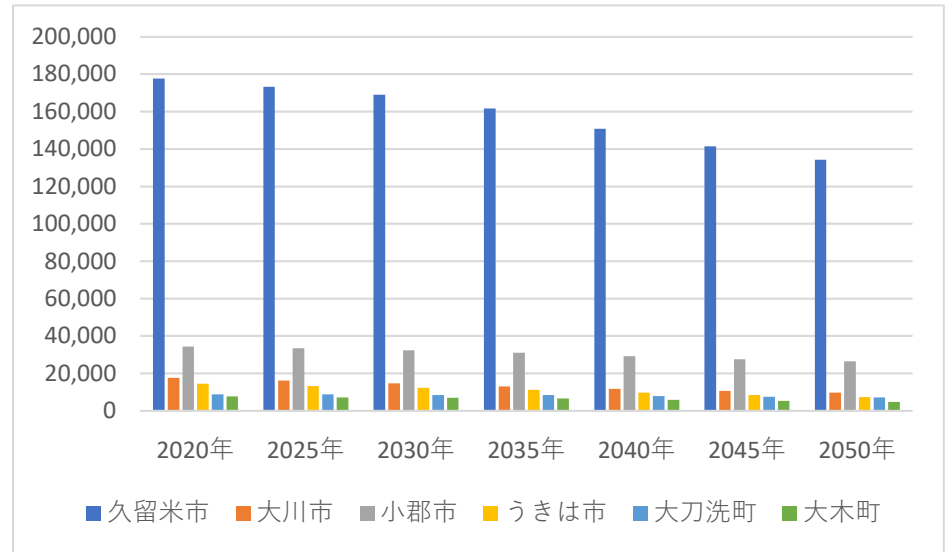
・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市町別で見ると、うきは市が概ね50%で最も高く、大刀洗町が19.7%で最も低い

年少人口 (15歳未満)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
久留米市	40,309	37,432	34,222	32,498	31,598	30,633	29,243	27.5%
大川市	3,456	3,232	2,989	2,726	2,594	2,466	2,302	33.4%
小郡市	8,131	7,699	7,196	6,832	6,720	6,561	6,288	22.7%
うきは市	3,475	2,962	2,405	2,078	1,871	1,710	1,548	55.5%
大刀洗町	2,339	2,367	2,264	2,061	1,981	1,931	1,881	19.6%
大木町	2,101	1,754	1,406	1,252	1,196	1,184	1,167	44.5%
久留米計	59,811	55,446	50,482	47,447	45,960	44,485	42,429	29.1%

・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市町別で見ると、うきは市で50%を超えて最も高く、大刀洗町が19.6%で最も低い



## 7. SCRの状況 (SCRが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの  
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(久留米地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	86.8%	50.0%	60.0%	A 基本診療科	83.3%	83.3%	60.0%
B 医学管理等	76.9%	46.2%	63.6%	B 医学管理等	81.8%	53.8%	72.7%
C 在宅医療	54.5%	45.5%	40.6%	C 在宅医療	70.0%	52.9%	59.4%
D 検査	65.7%	32.8%	46.0%	D 検査	72.7%	51.9%	59.2%
E 画像	100.0%	60.0%	70.0%	E 画像	100.0%	100.0%	100.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	100.0%	100.0%	100.0%
G 注射	62.5%	50.0%	76.9%	G 注射	71.4%	73.3%	84.6%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	100.0%	71.4%	85.7%
I 精神	66.7%	71.4%	50.0%	I 精神	81.8%	91.7%	85.7%
J 処置	66.3%	46.7%	67.1%	J 処置	76.0%	52.9%	74.3%
K 手術	76.1%	45.2%	73.6%	K 手術	82.7%	46.8%	70.9%
L 麻酔	60.0%	42.9%	58.3%	L 麻酔	66.7%	23.1%	58.3%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	100.0%	100.0%	100.0%
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	100.0%	85.7%	100.0%

・SCRが100以上の項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:545(73.3%)、外来:232(43.5%)、入院+外来:255(60.7%)

[久留米]入院:564(79.9%)、外来:273(54.6%)、入院+外来289(69.3%)

・A~Nの分野ごとに見ると、久留米区域では「画像」「投薬」「リハビリテーション」「放射線治療」「病理診断」が全て100以上である

## 7. SCRの状況 (SCRが90未満の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの  
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(久留米地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.3%	33.3%	20.0%	A 基本診療科	15.0%	16.7%	40.0%
B 医学管理等	23.1%	46.2%	27.3%	B 医学管理等	9.1%	46.2%	18.2%
C 在宅医療	36.4%	36.4%	37.5%	C 在宅医療	23.3%	35.3%	25.0%
D 検査	24.1%	47.0%	38.1%	D 検査	23.4%	37.2%	28.0%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%	E 画像	0.0%	0.0%	0.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%	F 投薬	0.0%	0.0%	0.0%
G 注射	31.3%	31.3%	15.4%	G 注射	28.6%	26.7%	15.4%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%	H リハビリテーション	0.0%	28.6%	14.3%
I 精神	33.3%	21.4%	37.5%	I 精神	18.2%	8.3%	14.3%
J 処置	25.0%	42.2%	22.9%	J 処置	20.0%	36.8%	22.9%
K 手術	13.7%	43.9%	15.5%	K 手術	14.0%	46.8%	21.8%
L 麻酔	33.3%	57.1%	41.7%	L 麻酔	33.3%	61.5%	33.3%
M 放射線治療	0.0%	60.0%	0.0%	M 放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%	N 病理診断	0.0%	14.3%	0.0%

・SCRが90を下回る項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:137(18.4%)、外来:226(42.4%)、入院+外来:112(26.7%)

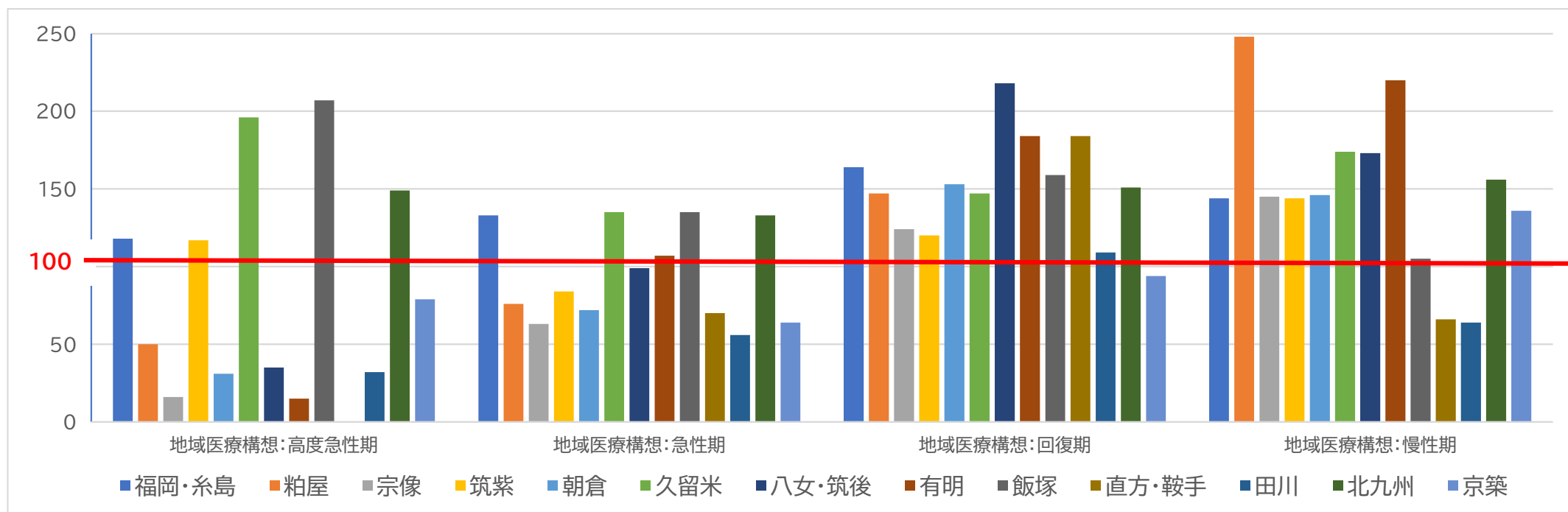
[久留米]入院:119(16.9%)、外来:187(37.4%)、入院+外来:95(22.8%)

・久留米区域では、多くの分野で90を下回る項目が少ない傾向がある

## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較①)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)  
 (独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

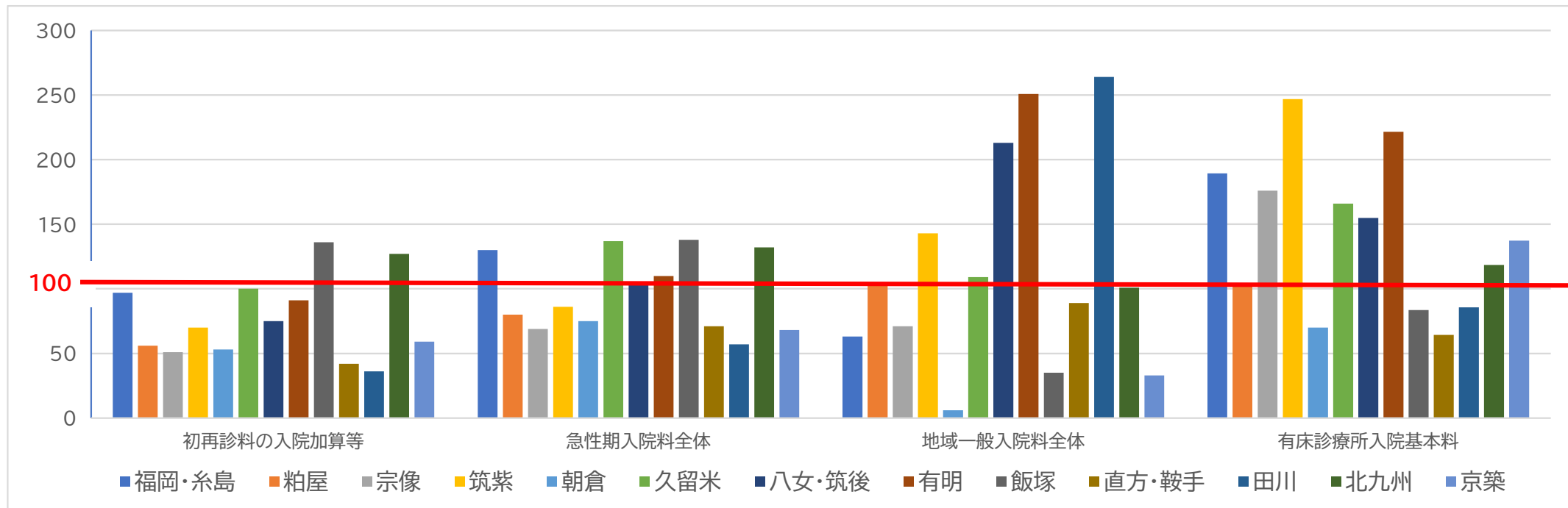
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想:高度急性期	118	50	16	117	31	196	35	15	207		32	149	79
地域医療構想:急性期	133	76	63	84	72	135	99	107	135	70	56	133	64
地域医療構想:回復期	164	147	124	120	153	147	218	184	159	184	109	151	94
地域医療構想:慢性期	144	248	145	144	146	174	173	220	105	66	64	156	136



## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較②)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)  
 (独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

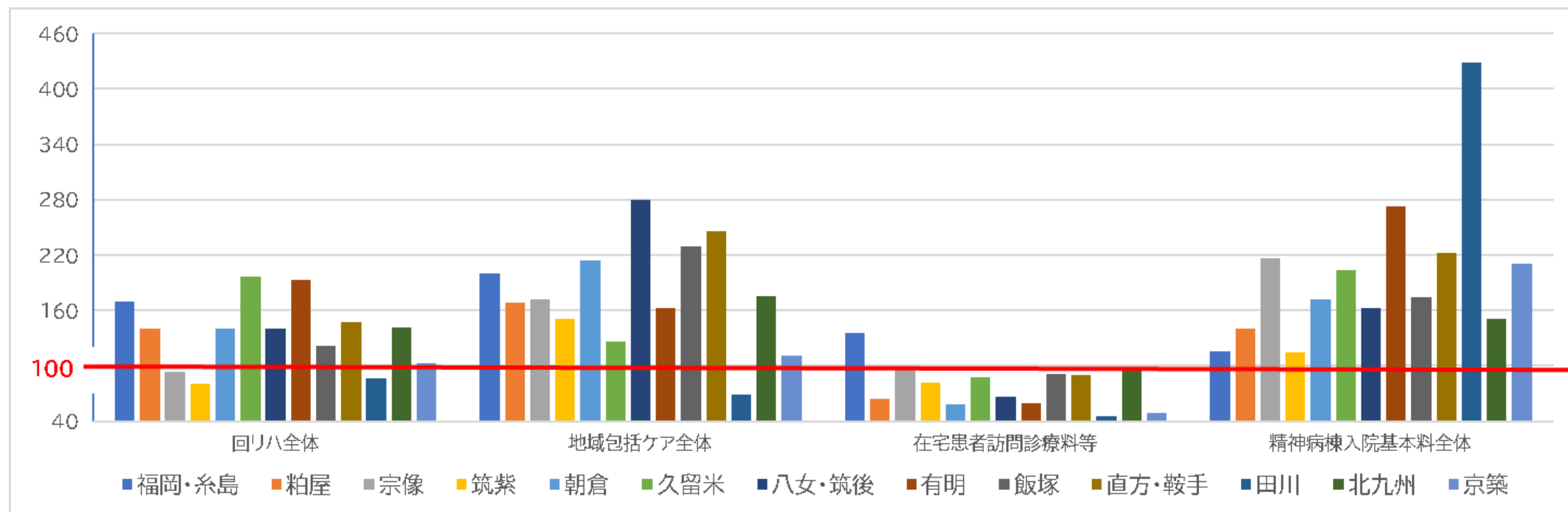
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診料の入院加算等	97	56	51	70	53	100	75	91	136	42	36	127	59
急性期入院料全体	130	80	69	86	75	137	105	110	138	71	57	132	68
地域一般入院料全体	63	103	71	143	6	109	213	251	35	89	264	101	33
有床診療所入院基本料	190	103	176	247	70	166	155	222	84	64	86	119	137



## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較③)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)  
 (独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回り八全体	170	140	94	80	140	196	140	193	122	147	86	141	103
地域包括ケア全体	200	168	172	151	214	126	280	163	229	246	69	175	111
在宅患者訪問診療料等	136	64	99	82	58	88	66	60	91	90	46	98	49
精神病棟入院基本料全体	116	140	216	114	172	204	162	273	174	222	429	151	211



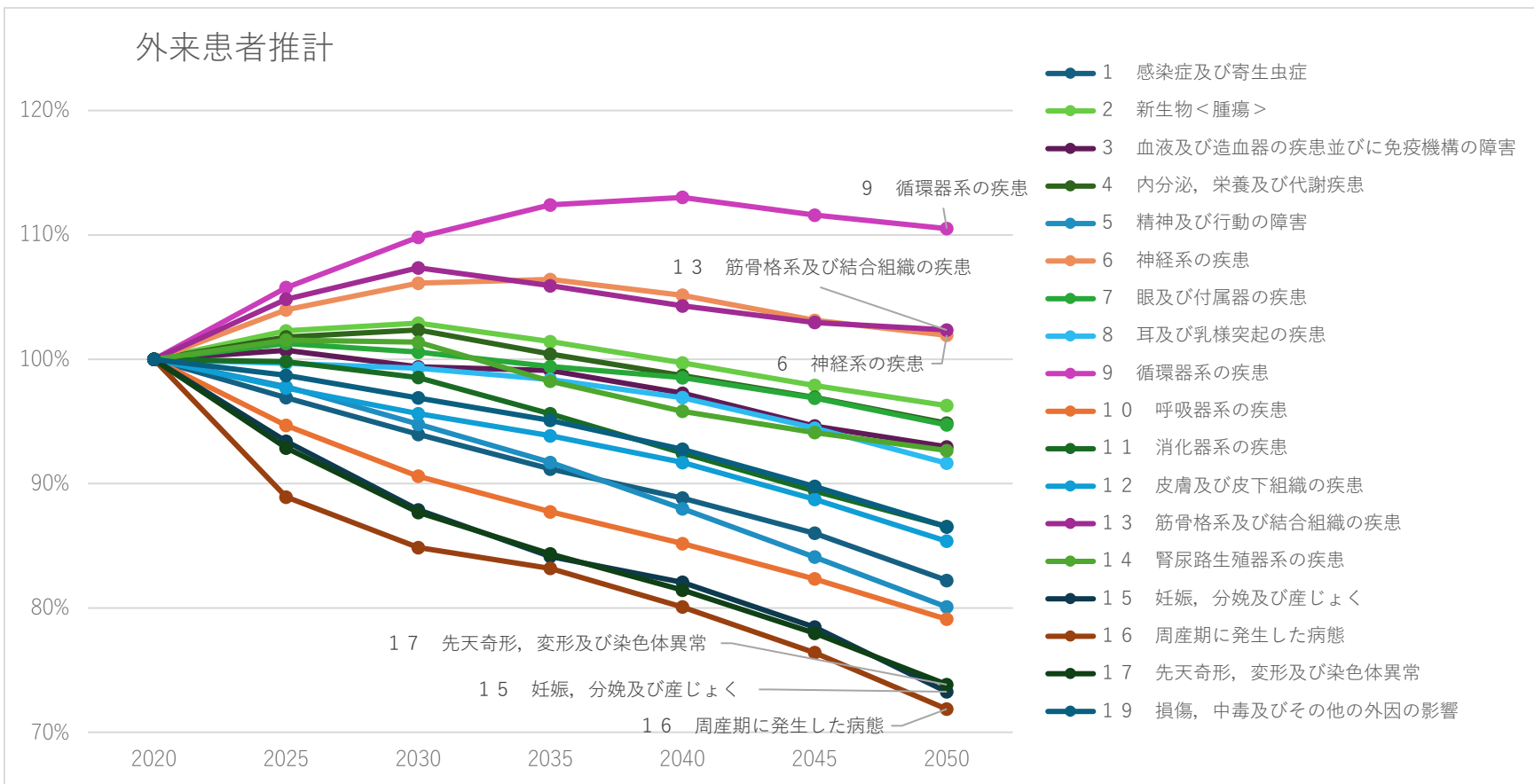
# 8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

久留米区域(市区町村別の患者推計は、別紙資料1を参照)

## 【外来患者推計】

循環器系、神経系、筋骨格系については、2050年頃まで増加が続くが、新生物、眼、腎尿路系は2030年をピークに減少していく見込み

周産期、妊娠・分娩、先天奇形、呼吸器、精神、感染症系は減少していく見込み



外来患者数は、循環器系、神経系、筋骨格系以外は2050年時点で100%を下回っており、今後、外来患者は減り続けるものと思料

・増加率が高い主な疾病は、次のとおり

系列9〔循環器系の疾患〕  
(対応する診療科)  
→循環器内科、心臓血管外科

系列6〔神経系の疾患〕  
(対応する診療科)  
→神経内科、脳神経外科

系列13〔筋骨格系及び結合組織の疾患〕  
(対応する診療科)  
→外科、整形外科、リウマチ科

・減少率が高い主な疾病は、次のとおり

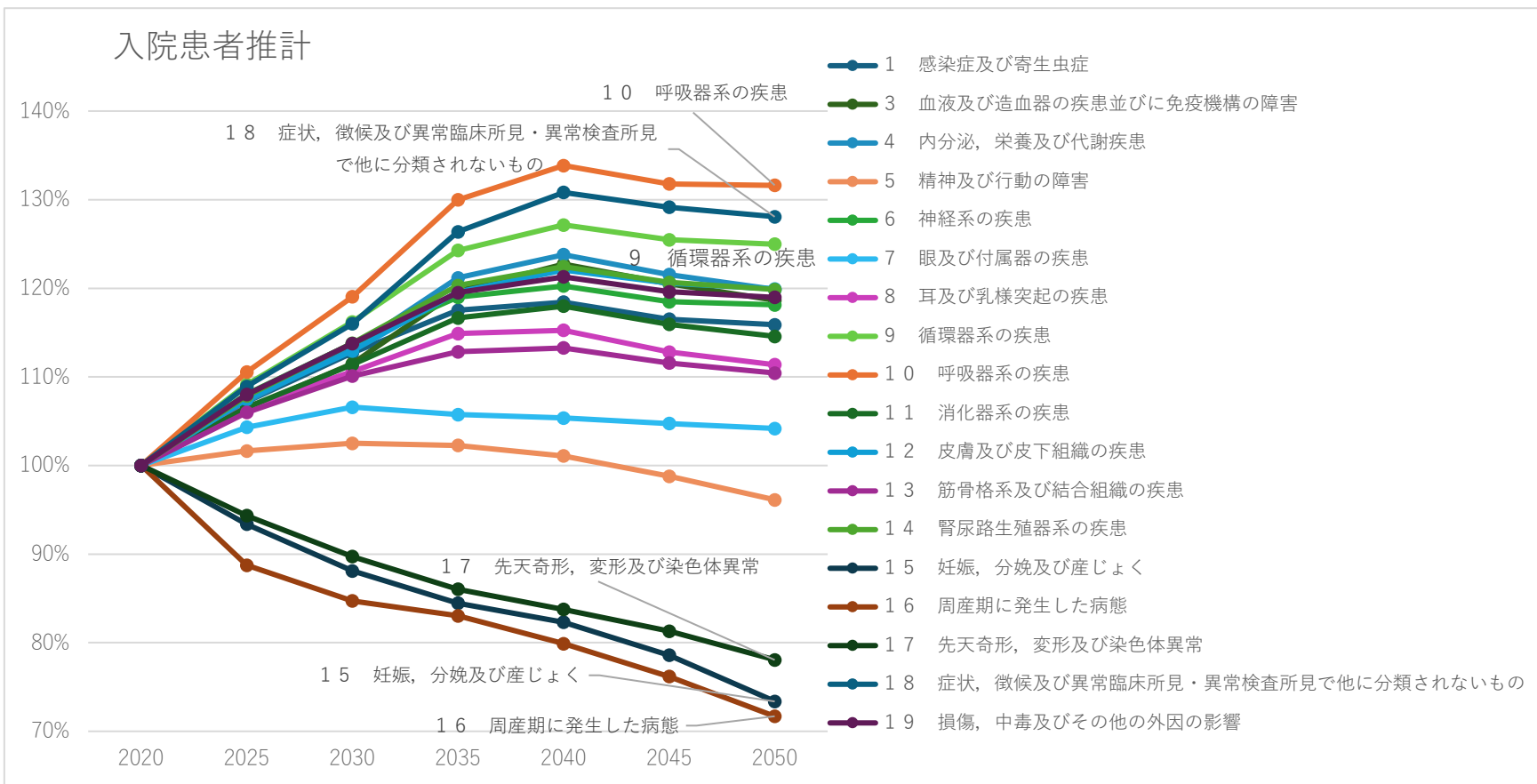
系列16〔周産期に発生した病態〕  
系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕  
(対応する診療科)

→産婦人科、産科、婦人科  
系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕  
(対応する診療科)  
→小児科

# 8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

## 【入院患者推計】

呼吸器、循環器、腎尿路、内分泌、皮膚、血管、消化器、損傷、感染症系は、2050年頃まで増加が続く見込み  
 周産期、妊娠・分娩、先天奇形は、減少していく見込み



2020年を基準とした入院患者数は、多くの疾病で、2050年時点で100%を上回っており、今後も入院患者は増え続けるものと思料

・2050年時点で、増加率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列10〔呼吸器系の疾患〕  
 (対応する診療科)  
 →呼吸器内科、呼吸器外科
- 系列9〔循環器系の疾患〕  
 (対応する診療科)  
 →循環器内科、心臓血管外科
- 系列14〔腎尿路生殖器系の疾患〕  
 (対応する診療科)  
 →腎臓内科、泌尿器科、婦人科
- 系列4〔内分泌、栄養及び代謝疾患〕  
 (対応する診療科)  
 →糖尿病内科(代謝内科)

・2050年時点で、減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕  
 →産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕  
 (対応する診療科)  
 →小児科

## 9. 医療従事者数〔医師〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）※人口：福岡県人口移動調査（R4.12.1）

		医師数	人口10万人当たり
久留米市	病院	1,580	524.7
	診療	1,301	432.0
大川市	病院	279	92.6
	診療	161	503.8
小都市	病院	127	397.4
	診療	34	106.4
うきは市	病院	122	204.5
	診療	71	119.0
大刀洗町	病院	41	150.3
	診療	13	47.7
大木町	病院	28	102.7
	診療	10	63.6
久留米 計	病院	6	38.2
	診療	4	25.5
福岡県 計	病院	19	139.3
	診療	3	22.0
		16	117.3
		1,933	430.1
久留米 計	病院	1,521	338.5
	診療	412	91.7
福岡県 計	病院	15,968	312.0
	診療	11,025	215.4
		4,943	96.6

◆医師偏在指標及び県内・全国順位（県内二次保健医療圏、周産期医療圏、小児科）

		医師偏在指標		
		数値	県内順位	全国順位
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47
	筑紫	224.7	6/13	97/330
	朝倉	202.0	9/13	152/330
	久留米	407.8	1/13	4/330
	八女・筑後	216.3	8/13	118/330
	有明	233.6	5/13	90/330
産科	福岡県	11.0	—	12/47
	福岡	10.4	3/4	94/258
	筑後	11.6	2/4	71/258
	筑豊	8.7	4/4	147/258
	北九州	12.7	1/4	53/258
小児科	福岡県	122.0	—	16/47
	筑紫	85.0	10/13	228/303
	朝倉	94.9	8/13	189/303
	久留米	170.3	1/13	13/303
	八女・筑後	89.0	9/13	217/303
	有明	124.3	4/13	86/303

「福岡県医師確保計画（令和6年3月）「医師偏在指標及び県内・全国順位」から抜粋」

- ・人口10万人当たりの医師数が100を切っているのは大刀洗町である
- ・医師偏在指標を見ると、久留米区域は医師全体の県内順位が1位、全国でも4位と上位にある
- ・小児科医師も県内順位が1位、全国でも13位と上位にある

## 9. 医療従事者数〔医師〕 診療所開設者年齢ピラミッド「公衆衛生等に係る医療の提供状況」(令和5年9月福岡県医療指導課)

年齢階級	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	福岡県
90 -	0	0	0	3	1	23
85 - 89	2	0	5	0	1	43
80 - 84	5	0	9	2	5	74
75 - 79	12	3	32	14	12	208
70 - 74	31	7	52	19	31	466
65 - 69	41	3	44	21	26	550
60 - 64	34	11	34	9	25	544
55 - 59	27	6	33	7	18	419
50 - 54	25	2	28	8	9	321
45 - 49	22	4	29	7	5	243
40 - 44	11	3	7	0	4	121
35 - 39	3	0	3	1	1	31
30 - 34	0	0	0	0	0	9
- 29	0	0	0	0	0	1
Total	213	39	276	91	138	3,053

・診療所開設者の年齢ピラミッドを見ると、「70-74」「65-69」がボリュームゾーンとなっている

・医師不足や後継者確保(継承)の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか

# 10. 医療従事者数〔医師・診療科①〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来 入院		増加	減少 減少	減少 減少	減少 増加		減少 増加	減少 増加	減少	減少 増加	減少 減少		減少 増加
	内科	循環器内科	精神科	小児科	整形外科	臨床研修医	外科	消化器内科 (胃腸内科)	眼科	腎臓内科	産婦人科	麻酔科	呼吸器内科
久留米市	145	126	117	104	86	102	86	81	50	55	45	46	48
大川市	19	8	1	8	10	15	5	6	5	4	9	5	4
小郡市	38	6	18	5	13	-	6	2	3	1	3	3	2
うきは市	12	2	5	2	8	-	1	1	2	-	-	1	-
大刀洗町	4	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大木町	9	-	-	2	1	-	1	1	1	-	-	-	-
久留米	227	142	141	126	119	117	99	91	61	60	57	55	54

外来 入院	減少 増加	減少 増加	減少 増加	減少 増加	増加	増加	減少 増加	減少 増加		減少 増加	減少 増加		減少 増加
	糖尿病内科 (代謝内科)	耳鼻 いんこう科	放射線科	皮膚科	泌尿器科	脳神経外科	心臓血管 外科	消化器外科 (胃腸外科)	形成外科	救急科	脳神経内科	婦人科	リウマチ科
久留米市	43	41	40	39	38	42	23	14	22	20	14	19	16
大川市	4	5	6	4	3	3	2	6	1	3	6	1	3
小郡市	2	1	4	2	4	2	1	2	-	-	1	1	-
うきは市	1	2	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-
大刀洗町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大木町	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
久留米	50	50	50	48	47	47	26	23	23	23	21	21	19

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

## 10. 医療従事者数〔医師・診療科②〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来 入院	リハビリテー ション科	減少 減少	減少 増加	減少 増加	減少	減少 増加	減少 増加	減少 減少	産科	臨床検査科	臨床検査科	集中治療科	減少 減少
		小児外科	肛門外科	血液内科	呼吸器外科	乳腺外科	病理診断科	感染症内科					心療内科
久留米市	17	17	13	8	7	7	6	6	6	4	4	3	2
大川市	-	-	-	1	2	-	2	-	-	1	1	-	-
小郡市	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うきは市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大刀洗町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大木町	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
久留米	18	17	13	9	9	8	8	6	6	5	5	3	2

外来  
入院

	美容外科	全科	その他	不詳
久留米市	2	1	18	1
大川市	-	-	9	-
小郡市	-	-	1	-
うきは市	-	-	-	-
大刀洗町	-	-	-	-
大木町	-	-	-	-
久留米	2	1	28	1

令和6年3月に策定した「福岡県外来医療計画」の構想区域の  
主な意見

- ・産科が不足している地区がある
- ・乳幼児健診を担う医師が不足している地区がある
- ・検死を担う医師が少数かつ高齢化している地区がある

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

## 11. 医療従事者数〔常勤医師〕（令和5年度「病床機能報告」）

久留米区域は件数が多いため、別紙資料1を参照

## 12. 医療介護資源の状況 (日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版))

### ●【地域の概要】

一人当たり医療費(国保):398千円(偏差値56)

一人当たり介護給付費:268千円(偏差値51)

### ●【医療の現状】

病院数:47、人口10万人当たり10.4(偏差値59)

診療所数:447、人口10万人当たり99(偏差値59)

総医師数:2250、人口10万人当たり497(偏差値69)

専門医数

小児科:112、人口10万人当たり24.7(偏差値78)

産婦人科:71、人口10万人当たり15.7(偏差値65)

総合内科:188、人口10万人当たり41.5(偏差値62)

看護師数:6,953、人口10万人当たり1,535(偏差値71)

### ●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数:6,377、75歳以上1,000人当たり96(偏差値49)

(うち、介護保険施設定員:3,595、75歳以上1,000人当たり54(偏差値49)

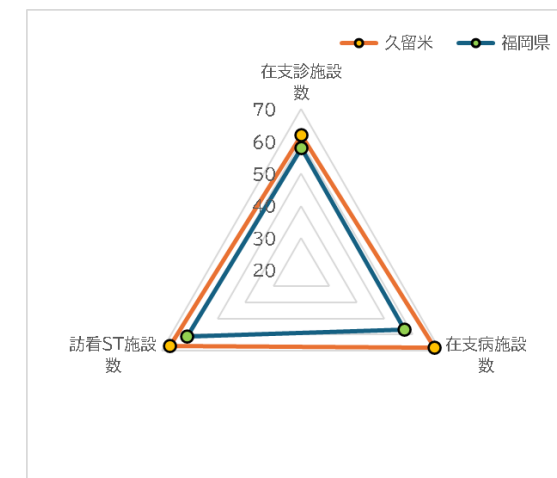
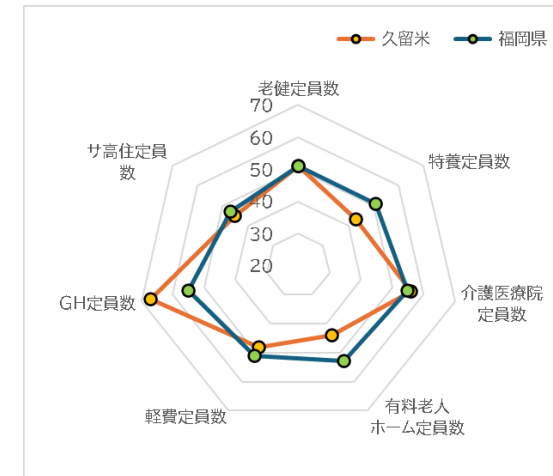
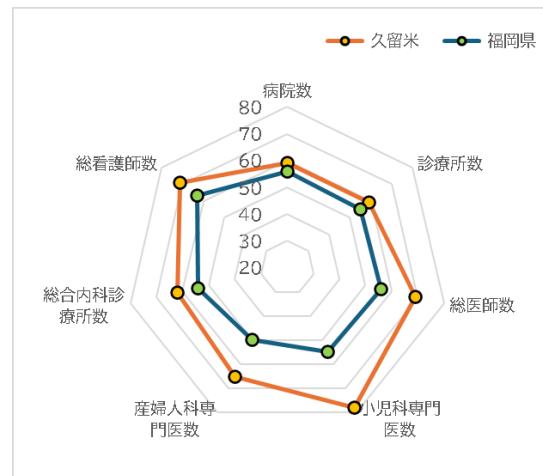
(うち、高齢者住宅定員:2,782、75歳以上1,000人当たり42(偏差値50)

介護職員数:5,517、75歳以上1,000人当たり83(偏差値59)

施設別定員数:老健施設1,360(偏差値51)、特養1,691(偏差値43)、介護医療院278(偏差値56)

(75歳以上1,000人当たり)有料8.3(偏差値44)、軽費0.9(偏差値48)、GH20.9(偏差値67)、サ高住11.6(偏差値45)

在宅ケア(施設数):在支診86(偏差値62)、在支病15(偏差値68)、訪看ST80(偏差値67)



## 12. 医療介護資源の状況 (厚生労働省「医療施設調査」)

●医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)(在宅療養支援診療所H26→R5推移)(訪問看護STはH29→R7推移)

医療施設数等	病院		一般診療所		在宅療養支援診療所	訪問看護ステーション		
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年				
福岡県	461	→ 453	4,654	→ 4,806	866	→ 767	493	→ 1,086
筑紫	27	→ 27	293	→ 313	45	→ 39	35	→ 73
朝倉	8	→ 8	74	→ 75	34	→ 30	4	→ 12
久留米	49	→ 47	449	→ 431	106	→ 81	51	→ 115
八女・筑後	14	→ 14	122	→ 121	39	→ 27	12	→ 28
有明	33	→ 31	214	→ 200	52	→ 39	25	→ 39

出所:病院、診療所数は厚生労働省「医療施設調査(動態)(平成28年10月1日現在)」、「医療施設調査(静態・動態)(令和5年10月1日現在)」

出所:在宅療養支援診療所数は厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(平成26年、令和5年10月1日現在)」

出所:訪問看護ステーション数は県医療指導課データ

※1 在宅療養支援診療所数は、平成26年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年4月1日現在、令和7年7月1日現在の介護保険法に基づく指定数

●市町別医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)

	病院数		一般診療所数	
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年
久留米市	34	→ 32	310	→ 303
大川市	2	→ 2	32	→ 29
小郡市	8	→ 8	58	→ 50
うきは市	3	→ 3	27	→ 29
大刀洗町	1	→ 1	9	→ 8
大木町	1	→ 1	13	→ 12
久留米	49	→ 47	449	→ 431

●小児科標榜医療機関数(H26→R2推移)

	医療機関数		病院		診療所		小児人口10万人対 医療機関数	
	平成26年	令和2年	平成26年	令和2年	平成26年	令和2年		
福岡県	361	→ 361	96	→ 97	265	→ 264	53.4	→ 55.9
筑紫	29	→ 27	6	→ 5	23	→ 22	43.0	→ 41.0
朝倉	8	→ 7	2	→ 2	6	→ 5	75.7	→ 67.4
久留米	35	→ 33	8	→ 7	27	→ 26	57.1	→ 57.6
八女・筑後	9	→ 9	3	→ 3	6	→ 6	51.1	→ 53.7
有明	25	→ 22	12	→ 9	13	→ 13	98.4	→ 92.4

出所:「医療施設調査」(平成26年、令和2年)

※診療所は、「小児科が主たる診療科」+「小児科単科」。

●分娩取扱医療機関数(H26→R5推移)

医療施設数等	病院		診療所	
福岡県	34	→ 28	88	→ 63
筑紫	1	→ 1	7	→ 5
朝倉	0	→ 0	1	→ 1
久留米	3	→ 3	14	→ 11
八女・筑後	2	→ 1	3	→ 3
有明	1	→ 1	5	→ 4

出所:厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(各年10月1日現在)」(平成26年、令和5年)による

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万人当たり	病院 看護師数	人口 10万人当たり	診療所 看護師数	人口 10万人当たり
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

出典：厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

・総看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、久留米区域は、県全体、全国より多い状況となっている

・勤務場所別で見ると、人口10万人当たり病院看護師は、県全体、全国より多い状況となっている

・人口10万人当たり診療所看護師は、県全体、全国より多いという状況である

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (施設)	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (訪問)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	2,649	14.4	1,415	7.7	1235	6.7
粕屋	557	16.8	445	13.4	112	3.4
宗像	227	9.5	162	6.8	65	2.7
筑紫	498	9.8	269	5.3	228	4.5
朝倉	151	10.8	114	8.2	37	2.6
久留米	796	11.9	416	6.2	380	5.7
八女・筑後	256	11.7	174	8.0	82	3.8
有明	469	11.5	360	8.9	109	2.7
飯塚	370	12.7	255	8.8	115	3.9
直方・鞍手	307	15.6	194	9.8	114	5.8
田川	394	17.4	220	9.7	175	7.7
北九州	1,883	10.5	1,179	6.6	704	3.9
京築	394	12.9	294	9.6	101	3.3
福岡県	8,952	12.5	5,497	7.7	3455	4.8
全国	188,635	10.1	119,762	6.4	68873	3.7

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、久留米区域は、県全体よりも少なく、全国よりも多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり従事者数を勤務場所別で見ると、介護施設は6.2人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

・訪問看護は、5.7人と県全体、全国よりも多い状況となっている

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	16,014	87.0	13,038	71.0	2976	16.2
粕屋	2,315	70.0	2,038	62.0	277	8.4
宗像	1,758	74.0	1,559	66.0	199	8.4
筑紫	3,653	72.0	3,131	62.0	523	10.3
朝倉	1282	92.0	1226	88.0	56	4.0
久留米	6,182	93.0	5,517	83.0	665	10.0
八女・筑後	2,199	101.0	1,964	90.0	235	10.8
有明	3,884	96.0	3,376	83.0	508	12.5
飯塚	2,833	97.0	2,361	81.0	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102.0	1753	89.0	252	12.8
田川	3,189	141.0	2,600	115.0	588	26.0
北九州	15,195	84.0	12,896	72.0	2299	12.8
京築	2,565	84.0	2,252	73.0	313	10.2
福岡県	63,075	88.0	53,711	75.0	9364	13.1
全国	1,556,622	84.0	1,327,531	71.0	229090	12.3

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、久留米区域は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設等は83.0人と県全体、全国よりも多い状況となっている

在宅は10.0人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

## ●就業場所別の看護師数

福岡県	看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、久留米区域は、県平均より多い状況となっている

・久留米区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で87%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

## ●就業場所別の准看護師数

福岡県	准看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	13,995	273.6		5,542	5,445	357	2,211	288	152
福岡・糸島	2,893	167.1	20.7%	1,146	1,126	74	457	60	31
粕屋	662	225.8	4.7%	262	258	17	105	14	7
宗像	337	203.4	2.4%	133	131	9	53	7	4
筑紫	757	171.5	5.4%	300	295	19	120	16	8
朝倉	297	368.1	2.1%	118	116	8	47	6	3
久留米	1,451	322.9	10.4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後	542	423.5	3.9%	215	211	14	86	11	6
有明	1,198	583.2	8.6%	474	466	31	189	25	13
飯塚	786	458.6	5.6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手	534	519.9	3.8%	211	208	14	84	11	6
田川	807	707.0	5.8%	320	314	21	127	17	9
北九州	3,014	285.9	21.5%	1,194	1,173	77	476	62	33
京築	717	396.6	5.1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、久留米区域は、県平均よりも多い状況となっている

・久留米区域について、就業場所別に見ると、病院と診療所がほぼ同数で、次いで介護保険施設等になっており、病院と診療所で79%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したもの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

## 14. 在宅医療の状況

### 「福岡県在宅療養支援診療所等調査」(高齢者地域包括ケア推進課)

#### 【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

#### 【調査時期】

毎年5月～7月頃

#### 【回収状況】

令和5年度回答率94.9%

令和7年度回答率97.0%

#### 【項目の説明】

訪問診療:調査対象月1ヶ月間の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

小児:調査対象月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

在宅看取り:調査前年度1年間の在宅看取り(施設看取り含む)患者数(医療機関所在地ベース)の実数

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

## ●在宅医療機関数

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
福岡・糸島	401	17,824	210	2,456	423	21,874	333	2,790	22	4,050	123	334	101	193	20
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5
朝倉	37	571	7	79	36	728	12	97	-1	157	5	18	13	22	2
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2
飯塚	40	1,715	13	485	43	1,959	23	423	3	244	10	-62	10	22	4
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3
総数	1,329	43,954	339	8,001	1,363	53,599	663	8,544	34	9,645	324	543	296	694	82

・久留米区域の令和5年度調査による在宅医療への今後の意向は、「現在より積極的に取り組みたい」が31件、「現状維持」が89件、「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が8件という結果であり、令和5年度から7年度の推移を見ると、医療機関数は2件減少しているものの、訪問診療患者数は700人近く増加している

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
福岡・糸島	849	531	89.1	620.1	7	(0.8%)	140	(16.5%)	203	(23.9%)	195	(23.0%)	175	(20.6%)	129	(15.2%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)
朝倉	80	50	5.6	55.6	2	(2.5%)	13	(16.3%)	22	(27.5%)	11	(13.8%)	16	(20.0%)	16	(20.0%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)
飯塚	101	56	10.0	66.0	1	(1.0%)	37	(36.6%)	18	(17.8%)	11	(10.9%)	17	(16.8%)	17	(16.8%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)
総数	2,517	1,666	244.6	1,910.6	27	(1.1%)	365	(14.5%)	557	(22.1%)	572	(22.7%)	566	(22.5%)	430	(17.1%)

- ・在宅医療を行う医師の年齢別割合を見ると、久留米区域では、「40~49歳」が24.8%、「50~59歳」が23.5%、「60~69歳」が23.9%となっている
- ・久留米区域については、他の区域と比べて、比較的年代ごとのバランスが取れている状況ではあるが、今後、老年人口が増えて、在宅医療への需要が高まることが見込まれる中、引き続き在宅医療に従事する医師の確保を検討していく必要があるのではないか

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

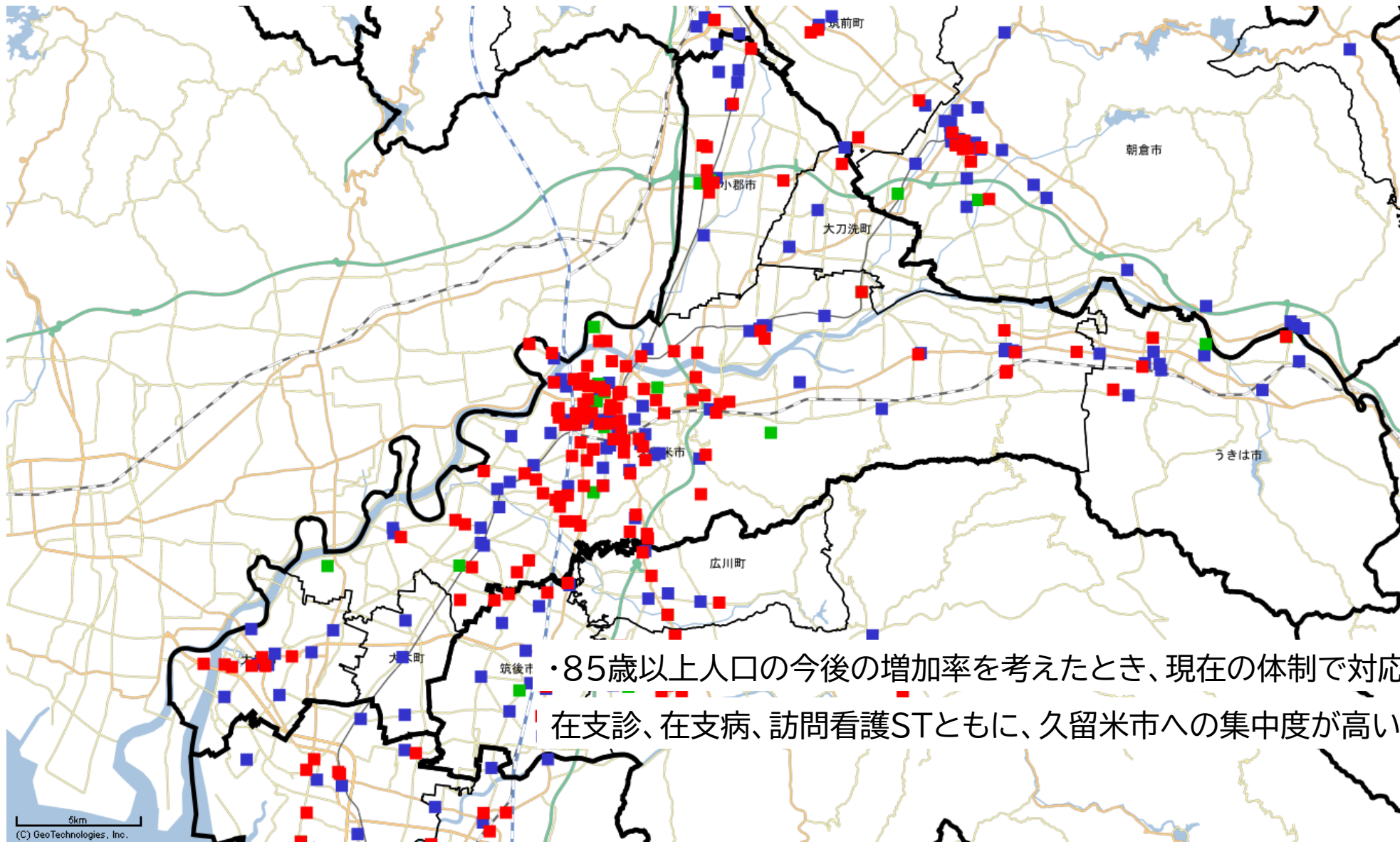
## ●在宅医療機関数(市町別)

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
久留米市	104	2,678	33	706	103	3,240	45	677	-1	562	12	-29	20	58	7
大川市	14	205	5	74	15	268	14	127	1	63	9	53	4	7	1
小郡市	17	363	10	64	16	461	22	69	-1	98	12	5	5	8	0
うきは市	16	275	0	44	15	233	0	19	-1	-42	0	-25	1	9	0
大刀洗町	4	78	0	35	4	79	0	28	0	1	0	-7	0	3	0
大木町	5	28	0	1	5	30	0	3	0	2	0	2	1	4	0
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8

## ●在宅医療に従事する医師数(R7年度)(市町別)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
久留米市	158	122	13.8	135.8	0	(0.0%)	10	(6.3%)	42	(26.6%)	35	(22.2%)	41	(25.9%)	30	(19.0%)
大川市	17	16	0.1	16.1	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(17.6%)	3	(17.6%)	5	(29.4%)	6	(35.3%)
小郡市	26	23	0.5	23.5	1	(3.8%)	6	(23.1%)	4	(15.4%)	9	(34.6%)	3	(11.5%)	3	(11.5%)
うきは市	22	16	1.2	17.2	0	(0.0%)	3	(13.6%)	4	(18.2%)	7	(31.8%)	7	(31.8%)	1	(4.5%)
大刀洗町	3	3	0.0	3.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	0	(0.0%)	2	(66.7%)
大木町	8	8	0.0	8.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(62.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(37.5%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)

# 14. 在宅医療の状況 (在支診、在支病、訪問看護STの位置)



久留米区域	在支診	在支病	訪問看護ST
久留米市	57	11	94
大川市	8	0	7
小郡市	6	2	9
うきは市	8	2	4
大刀洗町	2	0	1
大木町	3	0	0
合計	84	15	115

R7. 7. 1時点

85歳以上	2020年	2040年	増加率 (20→40)
久留米市	13,998	24,546	75.4%
大川市	2,181	2,966	36.0%
小郡市	3,105	5,307	70.9%
うきは市	1,965	2,854	45.2%
大刀洗町	774	1,401	81.0%
大木町	674	1,245	84.7%
久留米計	22,697	38,319	68.8%

・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか  
 在支診、在支病、訪問看護STともに、久留米市への集中度が高い

## 15. 看護職員の状況

「看護職員確保に係る実態調査」(医療指導課医師・看護職員確保対策室)

### 【調査対象】

(1)施設調査:6,451施設

病院(451)、診療所(4,205)、訪問看護ステーション(984)、介護老人保健施設(173)、介護老人福祉施設(439)、介護医療院(55)、障がい児者施設(施設入所・療養介護)(144)、その他(無回答含む)(48)

(2)看護職員調査:10,208人

上記施設に勤務する看護職員

### 【調査方法】

対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答

### 【調査時期】

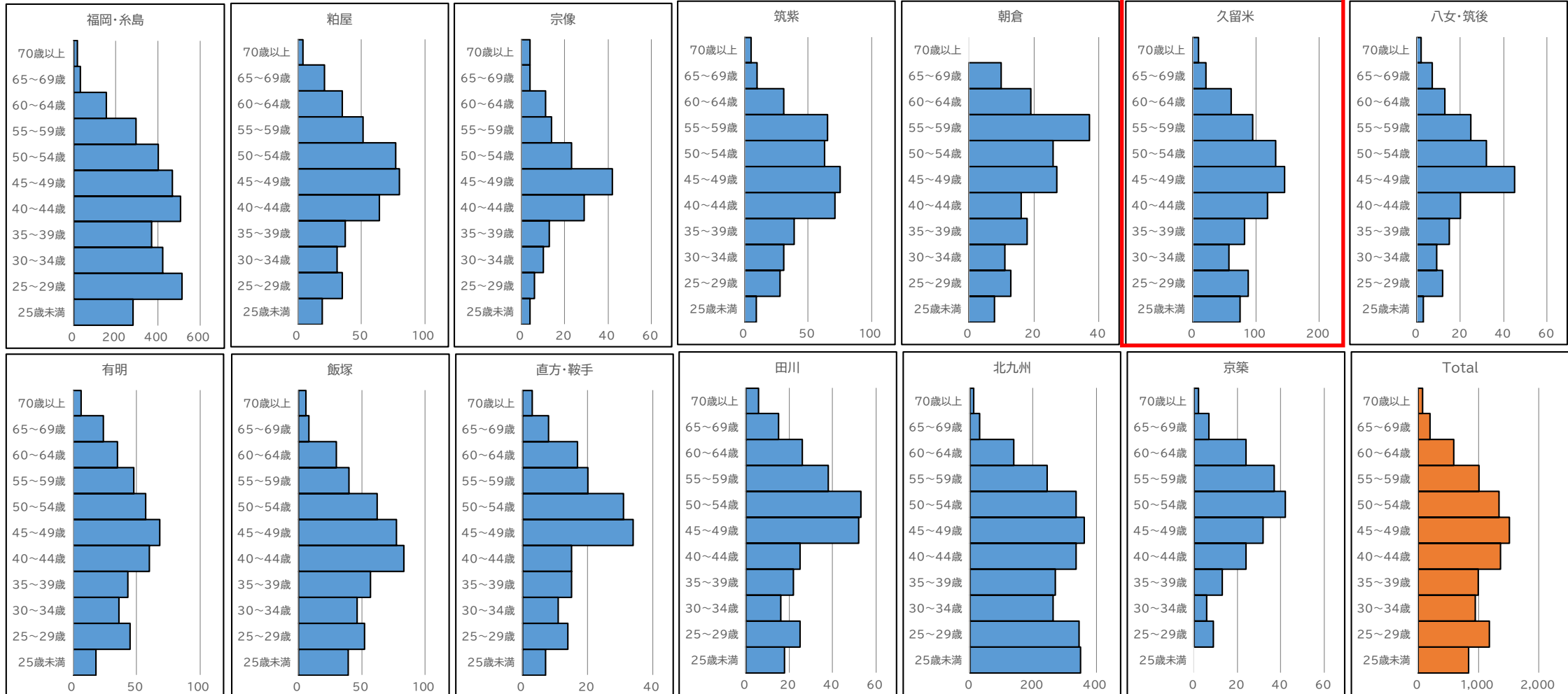
令和6年11月18日(月)～12月13日(金)

### 【回収状況】

施設2,201件(回収率34.1%)／看護職員回収10,208人

# 15. 看護職員の状況 (医療指導課医師・看護職員確保対策室「看護職員確保に係る実態調査」)

## ●二次医療圏・年齢階級別看護師数



- ・久留米区域の年齢構成ピラミッドを見ると、30代の年代層が若干少なく、20代の看護師数が30代を上回っている
- ・看護師確保の困難さが言及されているが、この年齢構成で10~20年後を考えた際、医療提供体制を維持できるか

# 16. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表 (厚生労働省「患者調査-二次医療圏編」)

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28.8.1時点	R5.8.1時点	差	(増減割合)	H26調査	R5調査	差	H26調査	R5調査	差
福岡・糸島	1,648,241	1,740,857	92,616	(5.32%)	19.1	21.8	2.7	13.2	12.4	▲ 0.8
粕屋	285,000	292,622	7,622	(2.60%)	44.9	42.1	▲ 2.8	39.1	41.1	2.0
宗像	156,744	165,602	8,858	(5.35%)	35.3	33.5	▲ 1.8	34.7	40.9	6.2
筑紫	434,568	440,919	6,351	(1.44%)	33.5	30.6	▲ 2.9	37.2	40.6	3.4
朝倉	83,209	80,348	▲ 2,861	(▲3.56%)	21.3	22.5	1.2	42.1	30.0	▲ 12.1
久留米	455,840	447,316	▲ 8,524	(▲1.91%)	34.5	31.8	▲ 2.7	23.9	22.8	▲ 1.1
八女・筑後	132,283	127,106	▲ 5,177	(▲4.07%)	25.0	27.3	2.3	29.4	34.9	5.5
有明	220,974	202,644	▲ 18,330	(▲9.05%)	20.0	18.4	▲ 1.6	21.8	18.9	▲ 2.9
飯塚	180,023	170,014	▲ 10,009	(▲5.89%)	21.9	23.5	1.6	26.8	25.9	▲ 0.9
直方・鞍手	108,047	101,892	▲ 6,155	(▲6.04%)	25.0	25.8	0.8	36.5	40.4	3.9
田川	124,830	112,634	▲ 12,196	(▲10.83%)	21.1	27.3	6.2	22.4	28.4	6.0
北九州	1,091,345	1,046,238	▲ 45,107	(▲4.31%)	8.2	9.0	0.8	7.7	7.3	▲ 0.4
京築	184,053	179,800	▲ 4,253	(▲2.37%)	20.3	20.2	▲ 0.1	33.2	28.4	▲ 4.8
福岡県	5,105,157	5,107,992	2,835	(0.06%)	21.5	22.0	0.5	20.4	20.5	0.1

久留米区域は、H28年からR5年の7年間で人口が8,524人減少(2.0%減)している

この7年間に推計流入患者割合は、2.7ポイント減少し、推計流出患者割合も1.1ポイント減少している

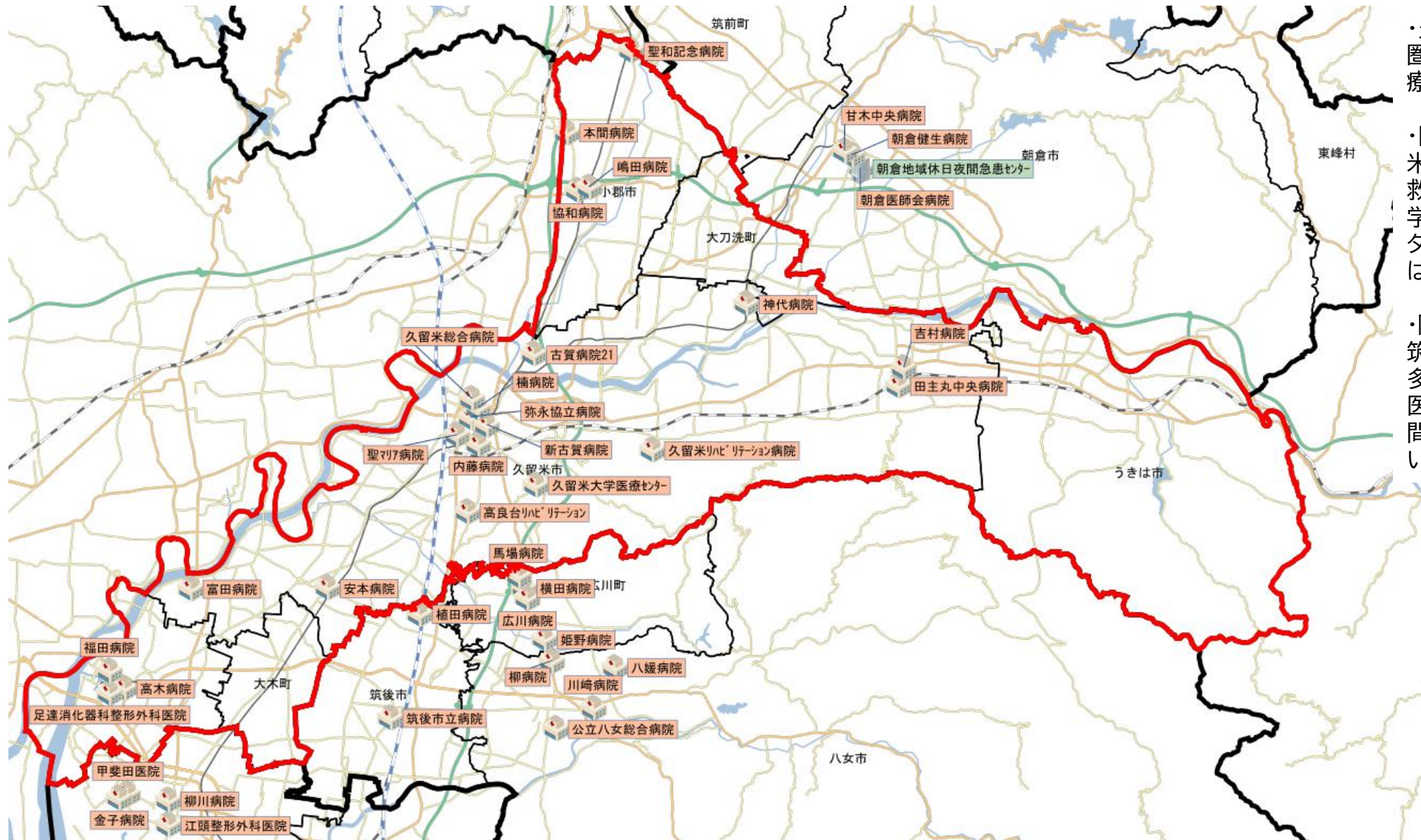
流入患者数の割合は、依然として30%を超えており、患者の流出よりも流入が高い状況となっている

※ 人口:福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成28年8月1日現在、令和5年8月1日現在)

※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合:厚生労働省「患者調査」(平成26年10月、令和5年10月)

病院の推計入院患者数の圏内への流入患者割合・圏外への流出患者割合、二次医療圏内・二次医療圏外が不詳の者を推計患者数から除いて算出

## 17. 二次救急及び急患センターの位置(隣接区域含む)

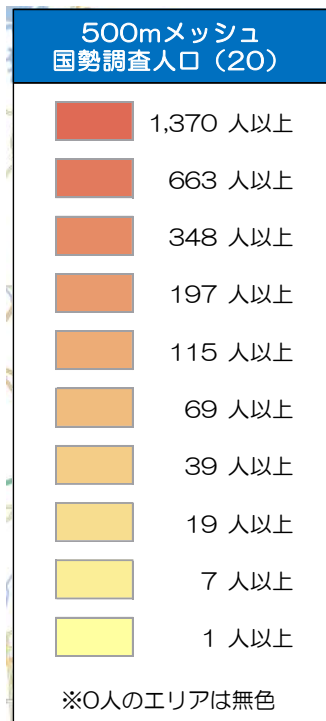


・久留米医療圏は、朝倉医療圏、八女・筑後医療圏、有明医療圏と接している

・医療の状況を見ると、久留米医療圏内には、22の二次救急と、三次救急の久留米大学病院 高度救命救急センターがあるが、急患センターは設置されていない

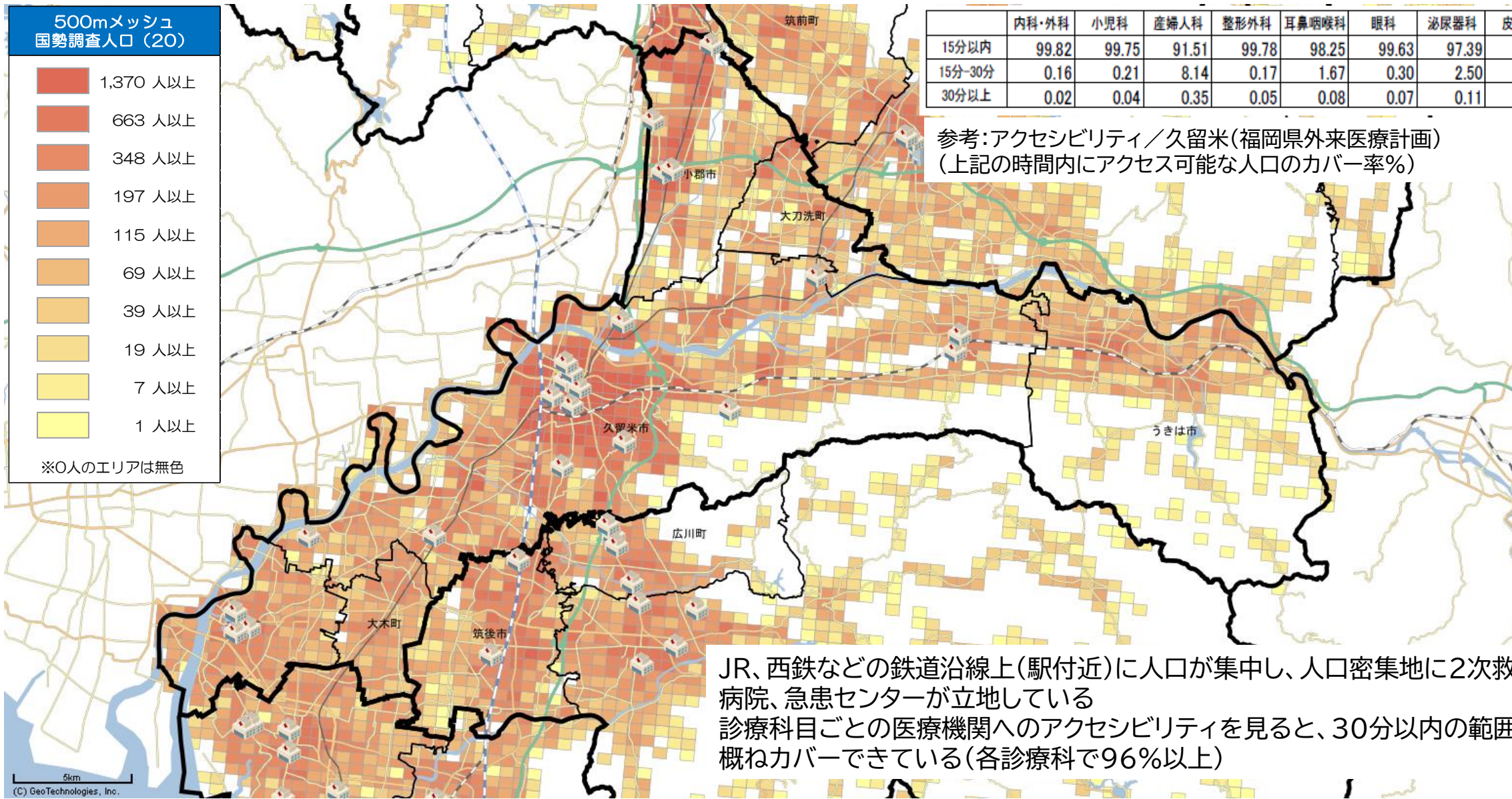
・隣接する朝倉医療圏、八女・筑後医療圏、有明医療圏には多数の二次救急があり、朝倉医療圏には、朝倉地域休日夜間急患センターが設置されている

# 18. 人口メッシュ(500m) (2020年(令和2年)「国勢調査」)



	内科・外科	小児科	産婦人科	整形外科	耳鼻咽喉科	眼科	泌尿器科	皮膚科	精神科
15分以内	99.82	99.75	91.51	99.78	98.25	99.63	97.39	99.76	99.35
15分-30分	0.16	0.21	8.14	0.17	1.67	0.30	2.50	0.19	0.57
30分以上	0.02	0.04	0.35	0.05	0.08	0.07	0.11	0.05	0.08

参考:アクセシビリティ/久留米(福岡県外来医療計画)  
(上記の時間内にアクセス可能な人口のカバー率%)



JR、西鉄などの鉄道沿線上(駅付近)に人口が集中し、人口密集地に2次救急病院、急患センターが立地している  
診療科目ごとの医療機関へのアクセシビリティを見ると、30分以内の範囲で概ねカバーできている(各診療科で96%以上)

5km  
(C) GeoTechnologies, Inc.

## 19. 救急搬送の状況① (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	年齢区分					居住地		
		新生児(人、割合)	乳幼児(人、割合)	少年(人、割合)	成年(人、割合)	高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	その他(人、割合)
久留米広域消防本部	21,507	9 (0.0%)	933 (4.3%)	814 (3.8%)	6,375 (29.6%)	13,376 (62.2%)	19,693 (91.6%)	1,728 (8.0%)	86 (0.4%)
福岡県	254,728	687 (0.3%)	10,824 (4.2%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医診断						軽傷に占める
	死亡(人、割合)	重篤(人、割合)	重症(人、割合)	中等症(人、割合)	軽症(人、割合)	その他(人、割合)	高齢者数(人、割合)
久留米広域消防本部	383 (1.8%)	0 (0.0%)	2,295 (10.7%)	8,945 (41.6%)	9,883 (46.0%)	1 (0.0%)	4,584 (46.4%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)	175 (0.1%)	48,147 (47.7%)

- ・搬送人員を年齢区分別に見ると、久留米区域、県ともに高齢者の割合が高い  
→ 久留米62.2%、県62.4%
- ・症状別では、久留米区域は県に比べて「軽症」の割合が高い  
→ 久留米46.0%、県39.6%
- ・「軽症に占める高齢者の割合」は、久留米区域、県ともに大きな差はない  
→ 久留米46.4%、県47.7%

## 19. 救急搬送の状況② (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	うち 高齢者 (人)	高齢者の発生場所							
			住宅 (人、割合)	公衆出入の場所(人、割合)			仕事場 (人、割合)	道路 (人、割合)	その他 (人、割合)	
				うち病院・病床数 20以上の医療機関 (人、割合)	うち病床数19以下 の診療所、医院 (人、割合)	うち老人ホーム、老 人保健施設等の老 人の収容施設 (人、割合)				
久留米広域消防本部	21,507	13,376	8,585 (64.2%)	3,732 (27.9%)	900 (6.7%)	458 (3.4%)	1,767 (13.2%)	109 (0.8%)	823 (6.2%)	127 (0.9%)
福岡県	254,728	159,027	98,559 (62.0%)	48,121 (30.3%)	11,316 (7.1%)	4,613 (2.9%)	25,245 (15.9%)	1,237 (0.8%)	10,086 (6.3%)	1,024 (0.6%)

- ・高齢者の救急搬送件数を救急要請の発生場所別に見ると、県全体、久留米区域ともに、「住宅」が最も割合が高い  
→久留米64.2%、県62.0%
- ・次が「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」である

## 19. 救急搬送の状況③ (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	収容平均所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数				搬送先		
			1回(人、割合)	2回(人、割合)	3回(人、割合)	4回以上(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	
久留米広域消防本部	21,507	31.52	18,873 (87.8%)	1,798 (8.4%)	499 (2.3%)	337 (1.6%)	239 (70.9%)	20,311 (94.4%)	1,196 (5.6%)
福岡県	246,430	37.91	196,547 (79.8%)	31,515 (12.8%)	12,679 (5.1%)	13,987 (5.7%)	9,051 (64.7%)	201,365 (81.7%)	53,363 (21.7%)

### 【久留米広域消防本部の主な搬送先】

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占 める割合	うち		
				軽症(%)	中等症(%)	重症(%)
1位 聖マリア病院	久留米市	8,069	37.5%	54.6%	29.3%	14.7%
2位 新古賀病院	久留米市	3,146	14.6%	35.7%	51.6%	10.4%
3位 嶋田病院	小都市	2,196	10.2%	45.5%	48.5%	4.1%
4位 医療法人 社団高邦会 高木病院	大川市	1,639	7.6%	37.5%	53.3%	6.7%
5位 田主丸中央病院	久留米市	1,458	6.8%	45.7%	43.6%	6.1%
1位～5位の合計		16,508	76.8%	47.3%	39.8%	10.9%
総計		21,507	100.0%	46.0%	41.6%	10.7%

・収容平均所要時間は、県全体が37.9分、久留米広域消防本部が31.5分で、県に比べて6分ほど短くなっている

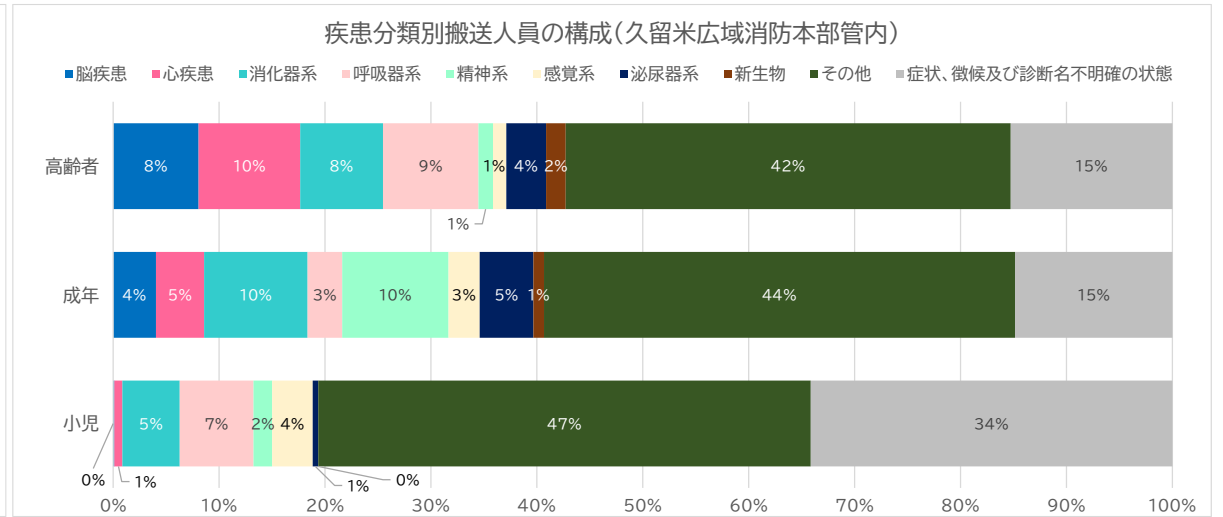
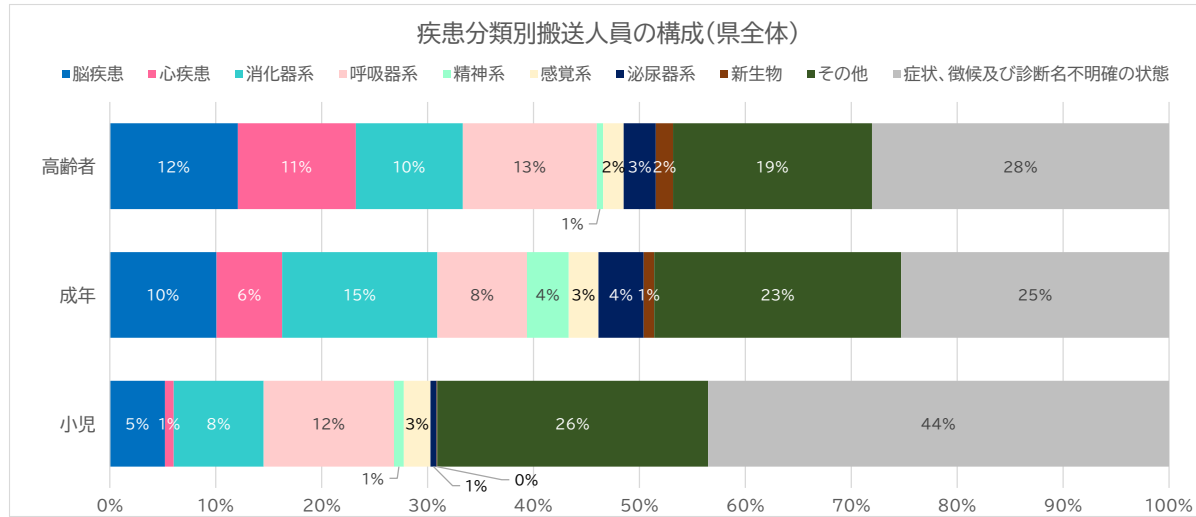
※収容平均所要時間とは、救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間

・搬送決定までの連絡回数は、1回が県79.8%、久留米区域が87.8%、4回以上かかる人数は、県が5.7%、久留米区域が1.6%と、久留米区域の方が少ない回数で搬送されている。ただし、4回以上かかる人数のうち高齢者の割合は、県よりも久留米区域が6ポイントほど高い

・久留米広域消防本部の主な搬送先は、域内の「聖マリア病院」、「新古賀病院」、「嶋田病院」で、62.3%がこれらの病院に搬送されている

# 19. 救急搬送の状況④ (令和5年「福岡県消防年報」)

## ● 疾患分類別搬送人員の構成



# 19. 救急搬送の状況⑤ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 小児(新生児、乳幼児、少年の計)に係る久留米区域内の各消防本部の搬送状況

\*搬送人員が10人以上の医療機関のうち、上位3位を集計

久留米広域消防本部

救急患者:1,756人(うち 搬送先 管内1,708人(97.3%)、管外48人(2.7%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 聖マリア病院	1,403人	82.1%
2位 医療法人社団高邦会 高木病院	79人	4.6%
3位 嶋田病院	55人	3.2%
管内総計	1,708人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 福岡大学筑紫病院	筑紫野市	22人	45.8%
-	-	-	-
-	-	-	-
管外総計		48人	100.0%

【参考】久留米広域消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	1,636人 (93.2%)
2回	86人 (4.9%)
3回	23人 (1.3%)
4回以上	11人 (0.6%)

収容平均所要時間 31.70分

【参考】福岡県平均

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	16,559人 (82.1%)
2回	2,254人 (11.2%)
3回	765人 (3.8%)
4回以上	587人 (2.9%)

収容平均所要時間 37.55分

● 小児に係る久留米区域内の医療機関への搬送患者の状況

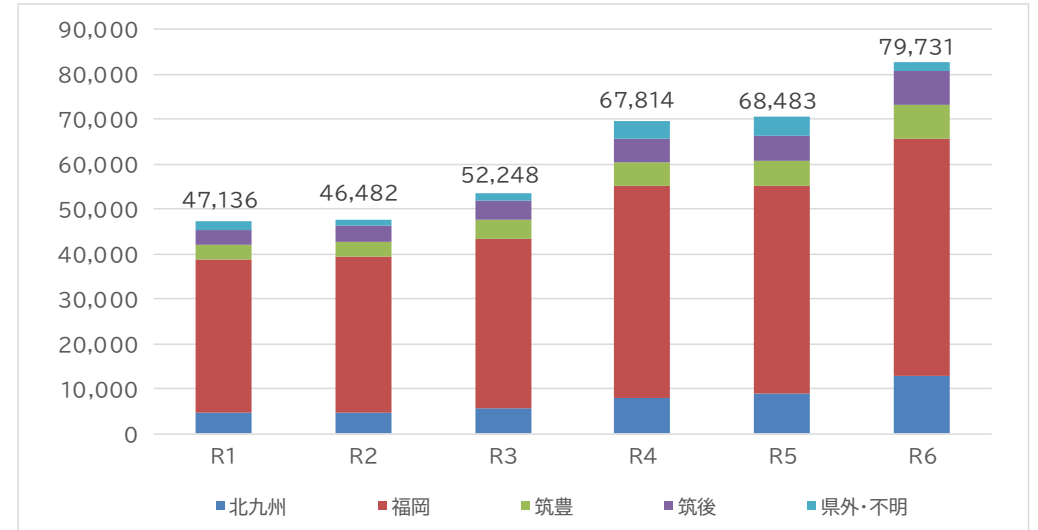
病院名	搬送患者数	1位		2位		3位	
		搬送先	割合	搬送先	割合	搬送先	割合
1位 聖マリア病院	2,014人	久留米広域消防本部	69.7%	八女消防本部	9.1%	甘木・朝倉消防本部	7.3%
2位 医療法人社団高邦会 高木病院	128人	久留米広域消防本部	61.7%	柳川市消防本部	37.5%	筑後市消防本部	0.8%
3位 久留米大学病院	93人	久留米広域消防本部	50.5%	大牟田市消防本部 筑後市消防本部	9.7%	八女消防本部	8.6%

## 20. 救急医療電話相談利用件数

### ●福岡県救急電話相談事業（#7119）市別利用件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	4,716	4,473	5,728	7,984	8,731	12,650	168.2%
福岡	33,951	35,026	37,704	47,051	46,369	53,038	56.2%
筑豊	3,341	2,292	2,739	3,688	3,588	4,413	32.1%
筑後	3,354	3,315	4,134	5,334	5,670	7,526	124.4%
県外・不明	1,774	1,376	1,943	3,757	4,125	2,104	18.6%
福岡県計	47,136	46,482	52,248	67,814	68,483	79,731	69.2%

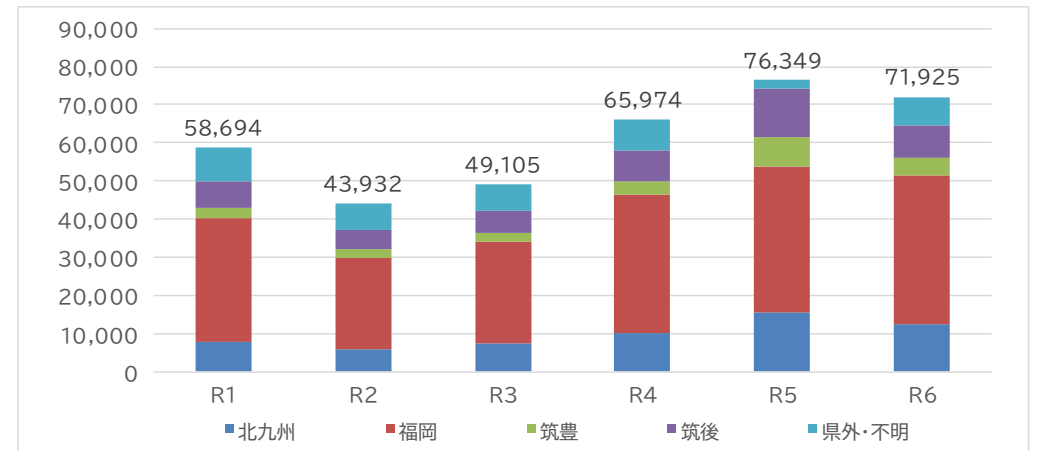
福岡県のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1万1,248件増加し、過去最多の7万9,731件となった  
 筑後地域のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1,856件増加し、過去最多の7,526件となった



### ●福岡県小児救急医療電話相談（#8000）件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	7,615	5,869	7,334	10,265	15,449	12,596	65.4%
福岡	32,539	24,063	26,695	36,142	38,283	38,759	19.1%
筑豊	2,843	2,230	2,472	3,546	7,872	4,544	59.8%
筑後	6,919	4,795	5,651	8,177	12,649	8,656	25.1%
県外・不明	8,778	6,975	6,953	7,844	2,096	7,370	-16.0%
福岡県計	58,694	43,932	49,105	65,974	76,349	71,925	22.5%

福岡県の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7万6,349件である  
 筑後地域の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の1万2,649件で、R6年度は8,656件となった



\*地域別の件数は相談者居住地による相談件数

## 21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術あり) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査(R5.4月～R6.3月)」)

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 久留米大学病院 (41.2%)、聖マリア病院 (28.1%)、新古賀病院 (21.8%)
眼科系 (02)	: 久留米大学病院 (60.9%)、聖マリア病院 (36.9%)
耳鼻科系 (03)	: 久留米大学病院 (42.2%)、聖マリア病院 (39.5%)、(医)高邦会高木病院 (8.3%)
呼吸器系 (04)	: 久留米大学病院 (44.7%)、新古賀病院 (22.6%)、聖マリア病院 (18.5%)
循環器系 (05)	: 新古賀病院 (37.7%)、久留米大学病院 (30.8%)、聖マリア病院 (18.0%)
消化器系 (06)	: 久留米大学病院 (22.0%)、聖マリア病院 (21.6%)、新古賀病院 (18.3%)
筋骨格系 (07)	: 久留米大学病院 (44.2%)、(医)オアシス福岡志恩病院 (24.6%)、聖マリア病院 (10.5%)
皮膚系 (08)	: 久留米大学病院 (69.6%)、聖マリア病院 (20.6%)、(医)高邦会高木病院 (5.9%)
乳房系 (09)	: (独)地域医療機能推進機構 久留米総合病院 (52.3%)、聖マリア病院 (16.1%)、久留米大学病院 (14.8%)
内分泌系 (10)	: 久留米大学病院 (54.1%)、聖マリア病院 (28.2%)、新古賀病院 (11.2%)
腎尿路系 (11)	: 久留米大学病院 (30.1%)、古賀病院 2 1 (25.7%)、聖マリア病院 (18.3%)
女性系 (12)	: 久留米大学病院 (39.7%)、聖マリア病院 (30.7%)、(独)地域医療機能推進機構 久留米総合病院 (16.8%)
血液系 (13)	: 久留米大学病院 (61.1%)、聖マリア病院 (26.1%)、(医)高邦会高木病院 (7.0%)
新生児系 (14)	: 聖マリア病院 (51.4%)、久留米大学病院 (46.5%)
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 聖マリア病院 (46.9%)、(医)高邦会高木病院 (13.1%)、久留米大学病院 (8.6%)、古賀病院 2 1 (8.6%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: 久留米大学病院 (33.1%)、新古賀病院 (19.2%)、聖マリア病院 (19.2%)

## 21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術なし) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査(R5.4月～R6.3月)」)

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 聖マリア病院 (37.7%)、新古賀病院 (20.8%)、久留米大学病院 (18.6%)
眼科系 (02)	: 久留米大学病院 (81.9%)、聖マリア病院 (12.3%)、(医)協和病院 (5.8%)
耳鼻科系 (03)	: 久留米大学病院 (34.7%)、聖マリア病院 (26.8%)、古賀病院21 (13.3%)
呼吸器系 (04)	: 聖マリア病院 (25.5%)、久留米大学病院 (23.6%)、新古賀病院 (12.6%)
循環器系 (05)	: 新古賀病院 (22.4%)、聖マリア病院 (22.1%)、久留米大学病院 (19.8%)
消化器系 (06)	: 新古賀病院 (20.1%)、聖マリア病院 (19.5%)、久留米大学病院 (16.7%)
筋骨格系 (07)	: 久留米大学病院 (41.0%)、聖マリア病院 (14.4%)、(医)高邦会高木病院 (6.9%)
皮膚系 (08)	: 聖マリア病院 (47.5%)、久留米大学病院 (25.2%)、(医)高邦会高木病院 (8.7%)
乳房系 (09)	: (独)地域医療機能推進機構 久留米総合病院 (32.8%)、新古賀病院 (29.7%)、弥永協立病院 (18.6%)
内分泌系 (10)	: 久留米大学病院 (25.8%)、聖マリア病院 (25.1%)、新古賀病院 (13.4%)
腎尿路系 (11)	: 久留米大学病院 (33.0%)、聖マリア病院 (22.4%)、古賀病院21 (13.6%)
女性系 (12)	: 久留米大学病院 (59.5%)、聖マリア病院 (37.1%)
血液系 (13)	: 久留米大学病院 (41.1%)、聖マリア病院 (36.7%)、(医)高邦会高木病院 (6.6%)
新生児系 (14)	: 聖マリア病院 (62.7%)、久留米大学病院 (37.3%)
小児系 (15)	: 聖マリア病院 (84.7%)、久留米大学病院 (15.3%)
外傷系 (16)	: 聖マリア病院 (43.2%)、(医)高邦会高木病院 (10.1%)、嶋田病院 (9.2%)
精神系 (17)	: 聖マリア病院 (44.5%)、久留米大学病院 (24.5%)、(医)高邦会高木病院 (12.7%)
その他 (18)	: 聖マリア病院 (28.2%)、久留米大学病院 (22.0%)、新古賀病院 (19.4%)